

伊根町まちづくりアンケート調査結果 2022年度

福知山公立大学地域経営学部
佐藤 充・谷口 知弘

1. 調査の概要

◆ 調査の実施内容

【目的】

「第6次伊根町総合計画」及び「第2期伊根町まち・ひと・しごと創生地域総合戦略」の進捗を把握するために、伊根町のまちづくりに対する住民の評価や意向を明らかにすること。

【対象】

伊根町の全世帯(828世帯)

【実施期間】

2022年9月

【実施方法】

伊根町行政情報配信システムによるWeb調査

◆ まちづくりの柱①

誰もが誇れる・ええまち

自然や景観、文化や伝統など先人から受け継いだ財産を、次代へ継承することができるまちづくりを進めます。

政策分野1 地域づくり

【住民主体の持続可能な地域づくり】

- ◎ 主体性のある地域づくり
- ◎ 移住支援

政策分野2 自然環境・景観

【農山漁村景観の保全と継承】

- ◎ 景観保全の取組
- ◎ 自然環境保全の取組

政策分野3 歴史・文化

【文化財の保護と伝統文化の継承】

- ◎ 文化財の保護
- ◎ 伝統文化の継承



子育てしやすい・ええまち

次代を担う子ども達が健やかに成長し、安心して子育てすることができる「子育て日本一」のまちづくりを進めます。

政策分野4 子育て

【地域で育む子育て日本一】

- ◎ 子育て環境の充実
- ◎ 保育の充実

政策分野5 教育

【きめ細やかな教育の推進】

- ◎ 学校教育の充実
- ◎ 社会教育の推進
- ◎ 人権を尊重するまちづくりの推進



豊かで住みよい・ええまち

農林水産業の6次産業化など支援し、地場産業を振興するとともに、観光関連産業と連携したまちづくりを進めます。

政策分野6 産業振興

【持続可能な農山漁村を目指した農林漁業への支援】

- ◎ 担い手の支援
- ◎ 産業基盤の充実
- ◎ 販路拡大の推進
- ◎ 地産地消の推進
- ◎ 鳥獣被害対策の推進

政策分野7 商工観光

【伊根浦を核としたまち全体が豊かになる観光の推進】

- ◎ 観光地としての伊根浦の創造
- ◎ 誘客対策の強化
- ◎ 連携による相乗効果の創出
- ◎ 事業者の支援
- ◎ 団体の支援
- ◎ 観光基盤施設の管理運営



◆ まちづくりの柱②

ひとが輝く・ええまち

誰もが生きがいや役割を持ち、自分らしく暮らすことができるまちづくりを進めます。

政策分野 8 保健

【健康で活き生きとした暮らしの実現】

- ◎ 主体性のある健康づくり
- ◎ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

政策分野 9 福祉

【住み慣れた地域で自分らしく】

- ◎ 高齢者等の包括的支援
- ◎ 障害のある人への支援
- ◎ 権利擁護の推進
- ◎ 担い手の要請
- ◎ 生きがいの創出

政策分野 10 医療

【地域で安心して暮らせる医療体制の充実】

- ◎ 医療体制の充実
- ◎ 救急医療体制の確保



暮らしやすい・ええまち

豊かな自然環境を守りながら生活の質を維持向上させ、安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。

政策分野 11 消防・防災

【防災まちづくり】

- ◎ 消防力の維持・強化
- ◎ 防災施設等の整備
- ◎ 防災力の向上

政策分野 12 社会インフラ

(1)生活インフラ

【安定した上下水道事業の運営と適正なごみ処理】

- ◎ 水道の安定供給
- ◎ 循環型社会の推進
- ◎ 生活排水の適正処理
- ◎ 適正なごみ処理の推進
- ◎ し尿等の適正処理

(2)交通インフラ

【安心安全な道路と公共交通の確保】

- ◎ 町道の整備と維持管理
- ◎ 国府道・高規格幹線
- ◎ 公共交通の確保
- ◎ 道路の整備促進

(3)住宅インフラ

【住宅の供給と空き家対策】

- ◎ 住宅の供給

政策分野 13 情報インフラ

【スマートタウン伊根町】

- ◎ 情報インフラの活用



開かれた・ええまち

今ある行政資源を最大限、効果効率的に活用し、質の高い行政サービスを提供できるまちづくりを進めます。

政策分野 14 財政運営

【持続可能な財政運営】

- ◎ 健全な財政の堅持

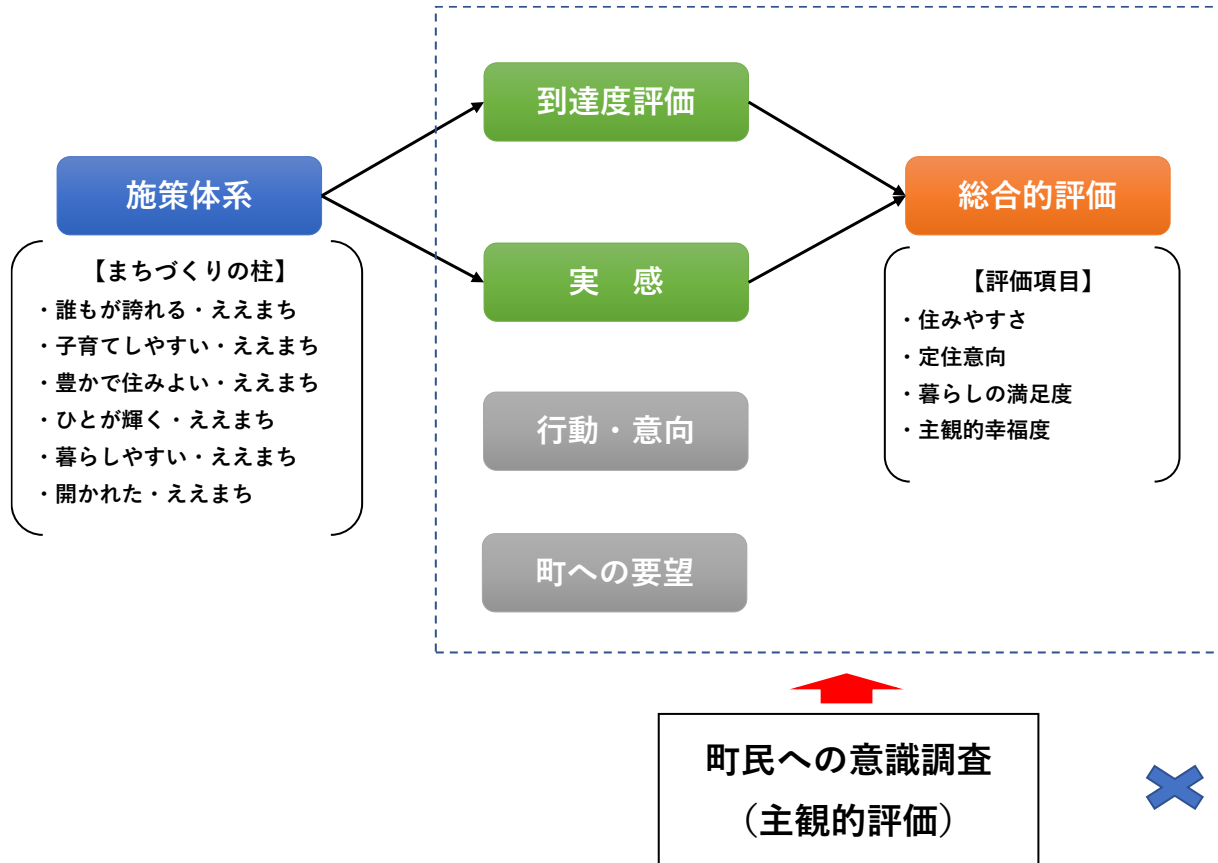
政策分野 15 行政

【活き生き順張り行政】

- ◎ 職員の能力向上
- ◎ 適正な行政運営
- ◎ 事業評価の実施
- ◎ 広報の充実



◆ 設問項目の体系図



◆ 本調査の設問項目①

まちづくりの柱		設問文
町民による 到達度評価	誰もが誇れる・ええまち	伊根町は、他の地域に誇れる町であると思いますか？
	子育てしやすい・ええまち	伊根町は、子育てしやすい町であると思いますか？
		伊根町は、生涯にわたって学習できる環境が整っている町であると思いますか？
		伊根町は、文化活動やスポーツに取り組みやすい町であると思いますか？
	豊かで住みよい・ええまち	伊根町は、経済的な豊かさを感じられる町であると思いますか？
	ひとが輝く・ええまち	伊根町は、安心して医療サービスを受けることができる町であると思いますか？
		伊根町は、高齢者や障害者への福祉サービスが充実している町であると思いますか？
	暮らしやすい・ええまち	伊根町は、生活インフラ（道路・上下水道・公共交通等）が整備されている町であると思いますか？ 伊根町は、防災・防犯等の観点から安全・安心な町であると思いますか？
町民の実感	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、伊根町で暮らすことに誇りや愛着を感じますか？
	子育てしやすい・ええまち	あなたは、お住まいの地域に、子育て家庭に対する理解や協力の雰囲気があると感じますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、生活に必要な所得や収入を得られていると感じていますか？
	ひとが輝く・ええまち	あなたは、心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？
		あなたは、お住まいの地域の方と交流することで充実感を感じますか？
		あなたは、お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
	暮らしやすい・ええまち	あなたは、買い物や移動などで不便なく日々の生活を送ることができていると感じますか？
		あなたは、暮らしに必要な町の情報を入手することができていると感じますか？
町民の 行動・意向	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、地区や地域活動などに関わっていますか？
		あなたは、伊根町の自然環境や景観を大切にしたいと思いますか？
		あなたは、伊根町の文化財や伝統文化を守り、受け継ぎたいと思いますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、伊根町に観光者が訪れることを歓迎していますか？
	開かれた・ええまち	あなたは、行政と一緒に、伊根町のまちづくりに取り組みたいと思いますか？
町への要望	開かれた・ええまち	あなたが伊根町で暮らしていくために、下記の取り組みのうち、特に必要に思うことはありますか？（該当するものはいくつでも）

◆ 本調査の設問項目②

【総合的評価（アウトカム指標）】

住みやすさ

あなたにとって、伊根町は
住みやすい場所ですか？

定住意向

あなたは、これからも伊根町
で暮らし続けたいですか？

生活の主観的満足度

あなたは、現在の生活にどの
程度満足していますか？

（0－10点評価・11件法）

※内閣府調査を参照

主観的幸福感

現在、あなたはどの程度幸せ
ですか？

（0－10点評価・11件法）

※文化庁調査を参照

◆ 回答者の概要①

【回答者数 114件／回収率 13.8%】

【年代】

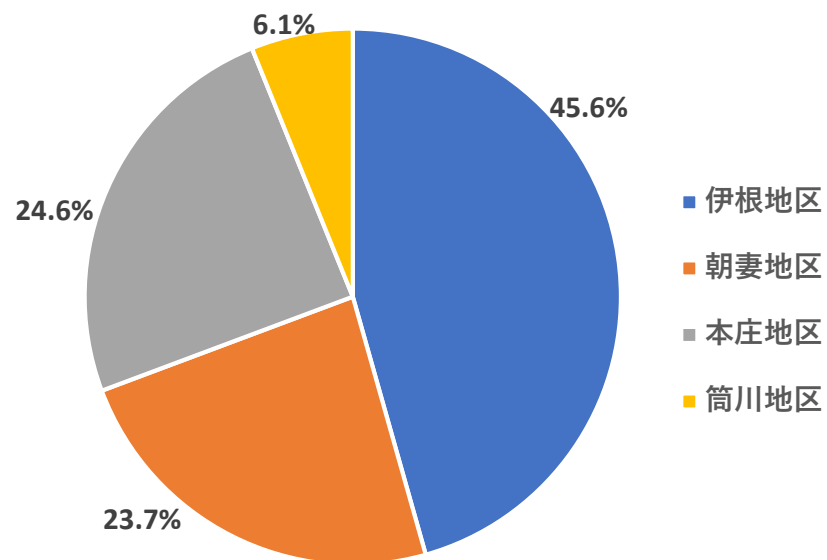
年代区分	度数	構成比
10代	1	0.9%
20代	2	1.8%
30代	27	23.7%
40代	22	19.3%
50代	18	15.8%
60代	23	20.2%
70代	18	15.8%
80代以上	3	2.6%
合計	114	100.0%



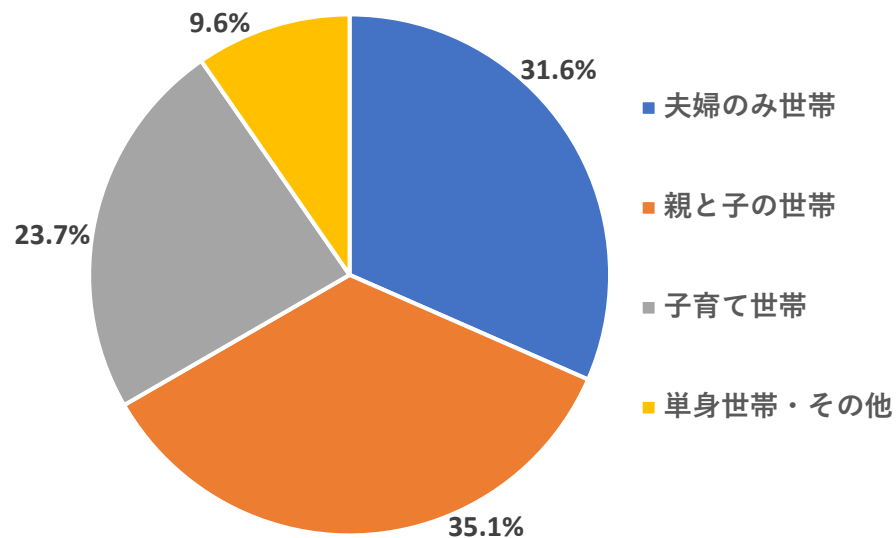
年代区分	度数	構成比
30代以下	30	26.3%
40代	22	19.3%
50代	18	15.8%
60代	23	20.2%
70代以上	21	18.4%
合計	114	100.0%

◆ 回答者の概要②

【居住地区(n=114)】

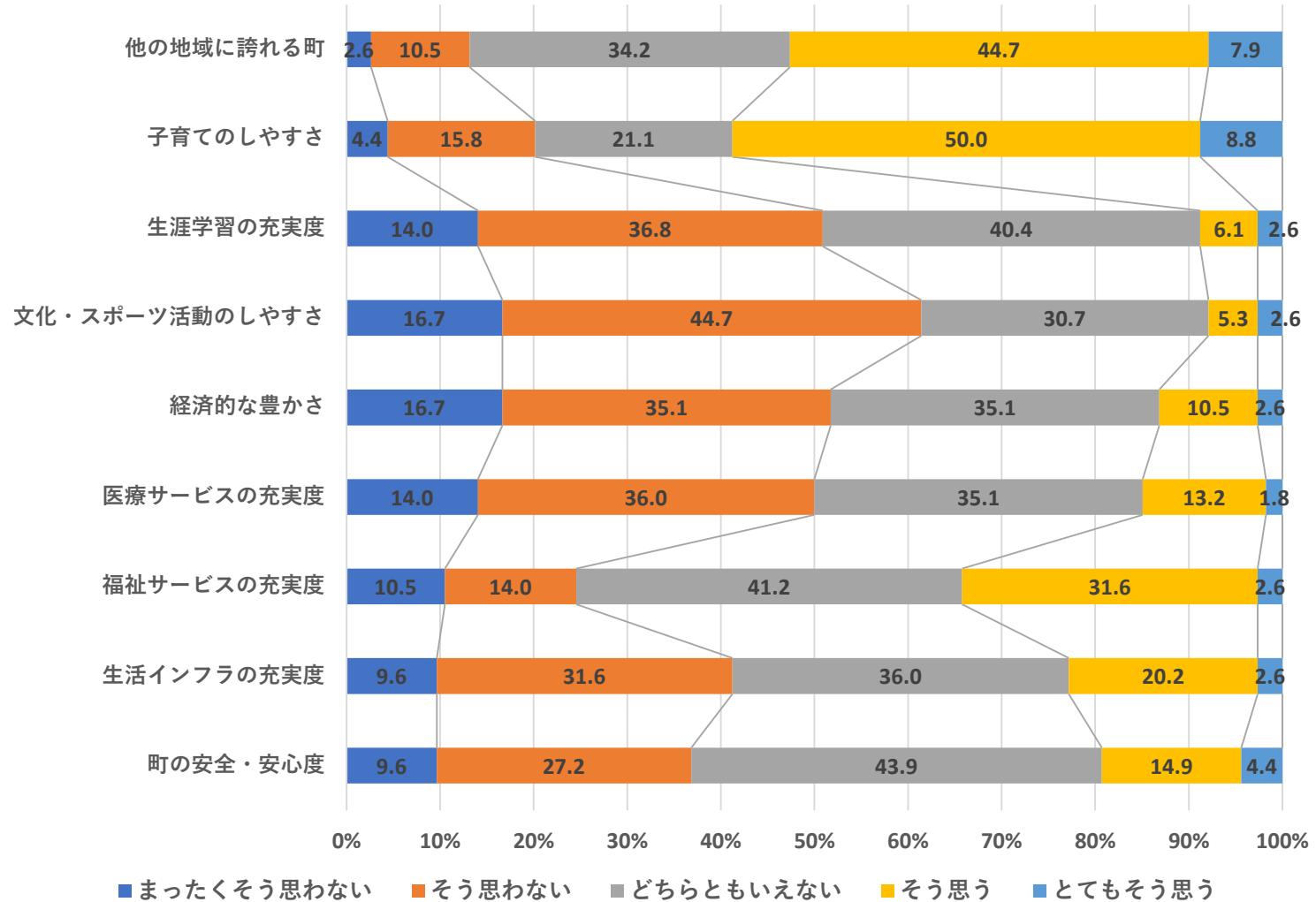


【世帯類型(n=114)】

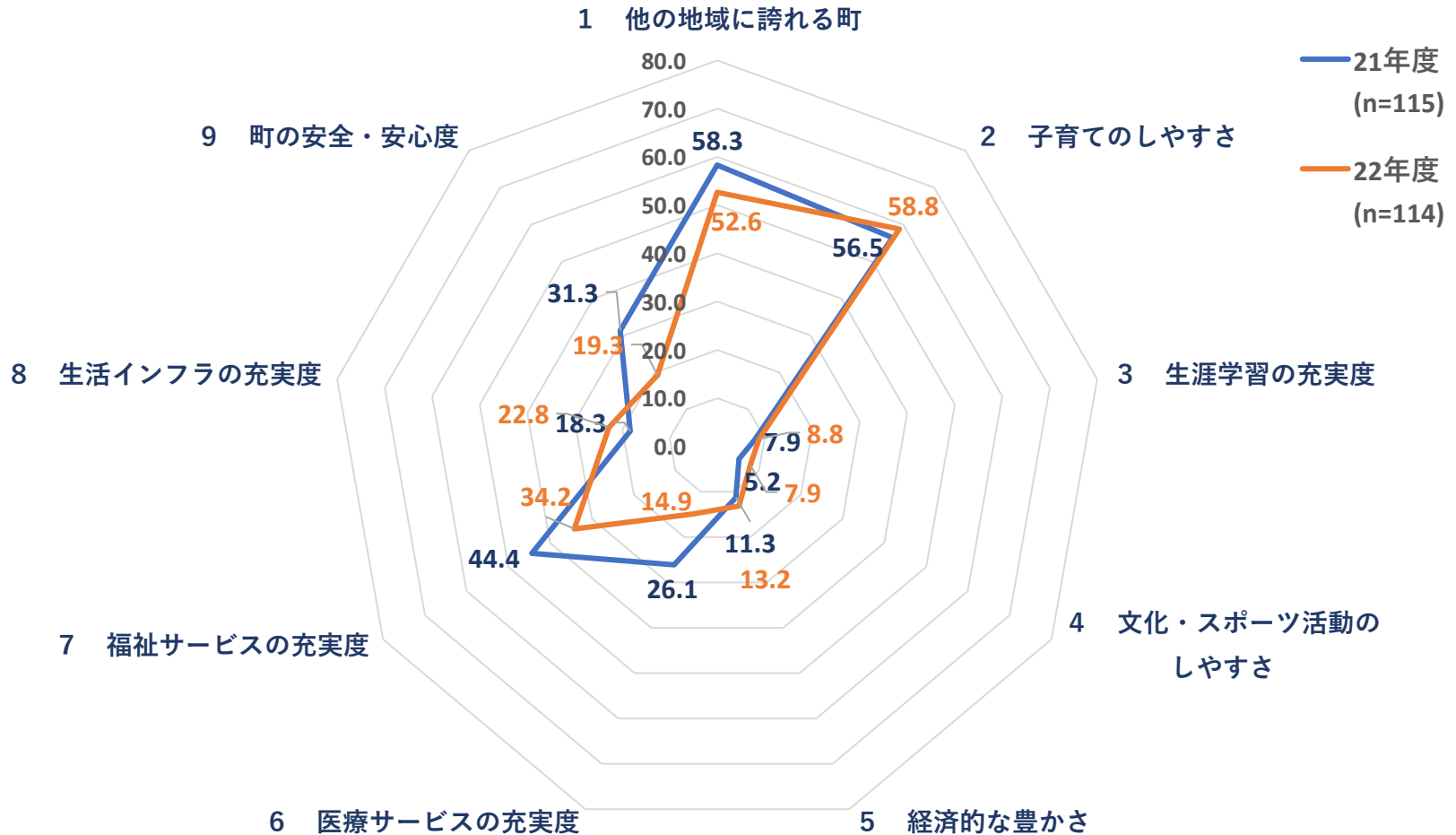


2. 到達度の評価

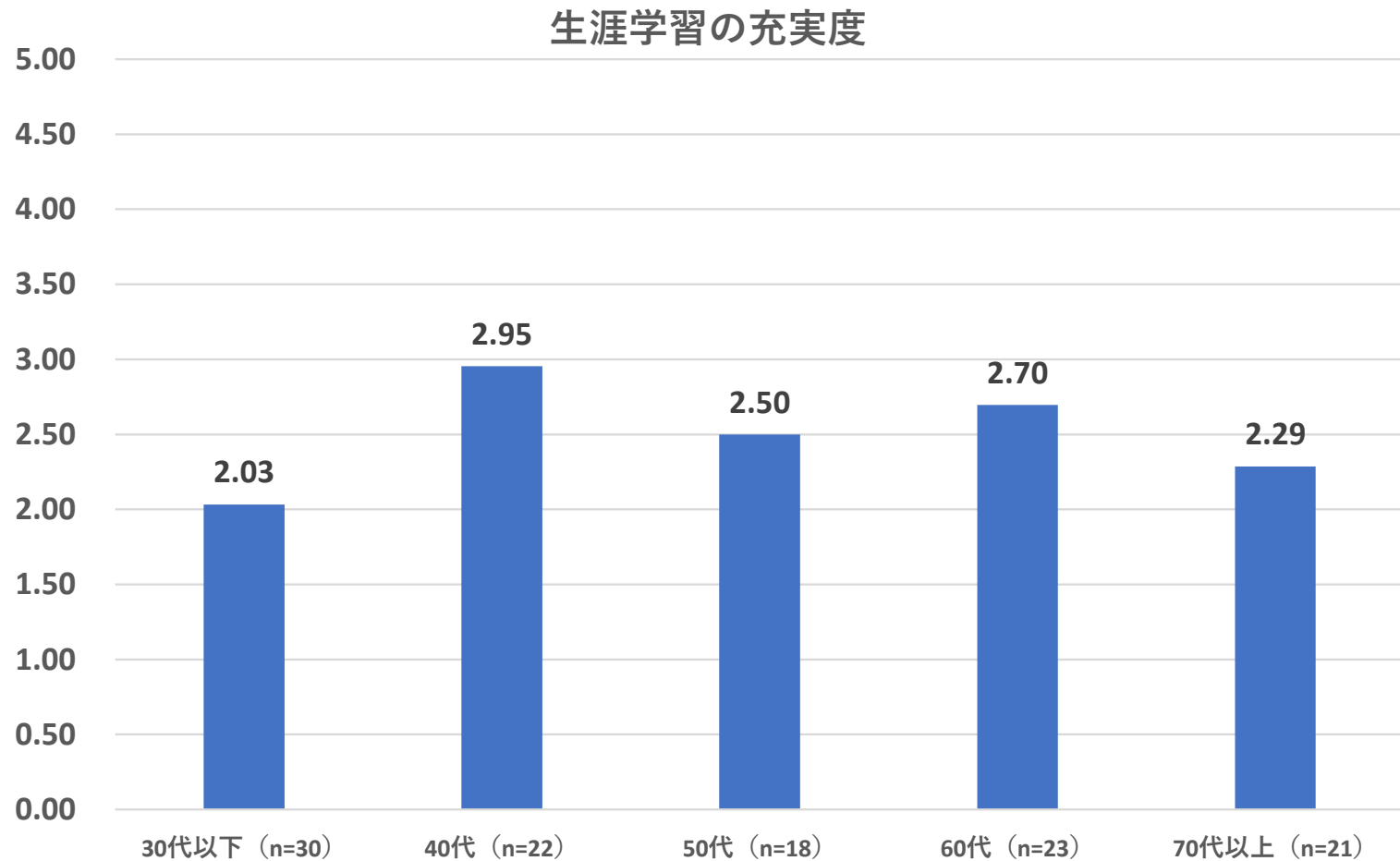
◆ 到達度の評価(22年度・n=114)



◆ 到達度の評価(21-22年度)

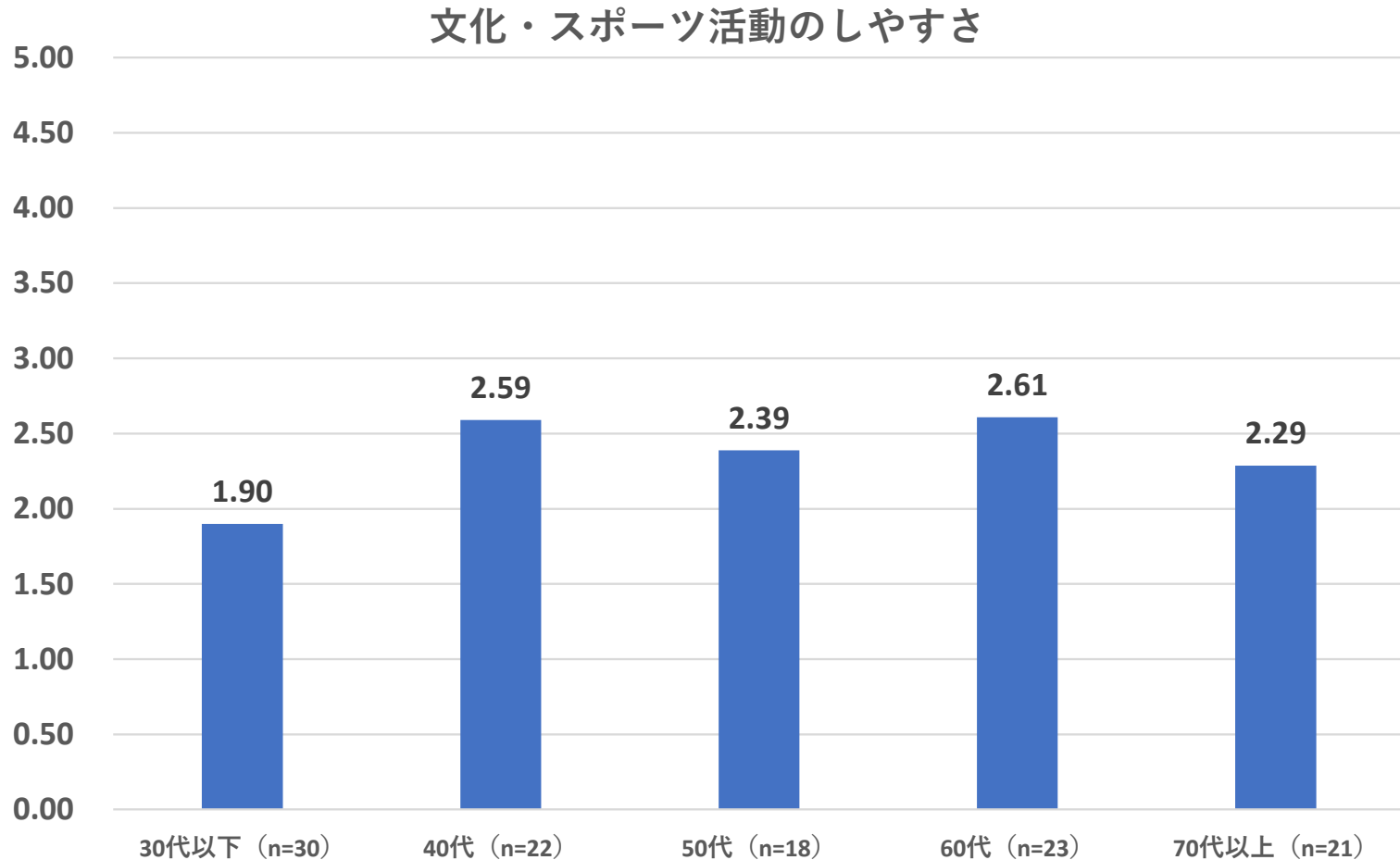


◆ 年代別の到達度評価①



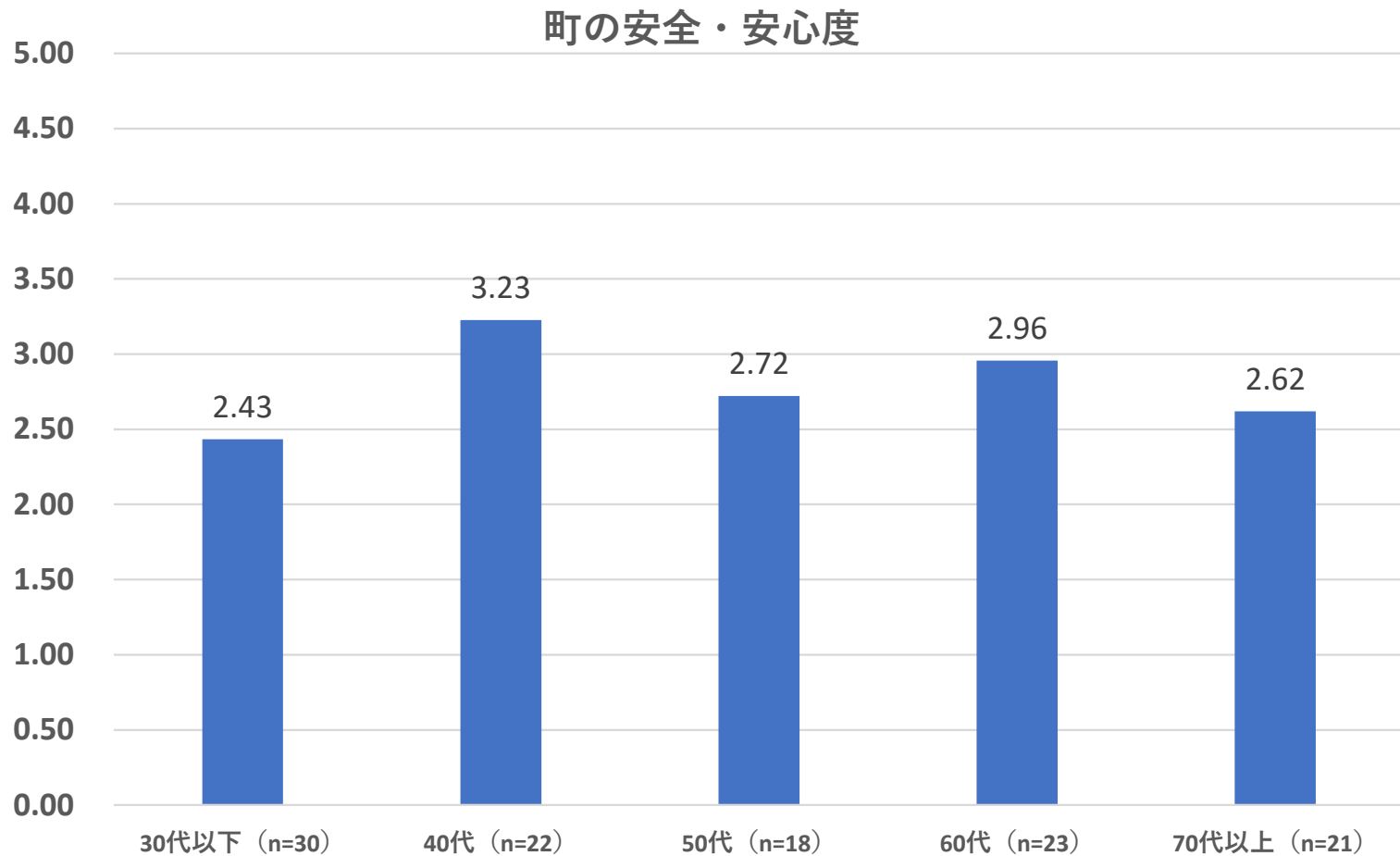
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差($p<.01$)が認められた。)

◆ 年代別の到達度評価②



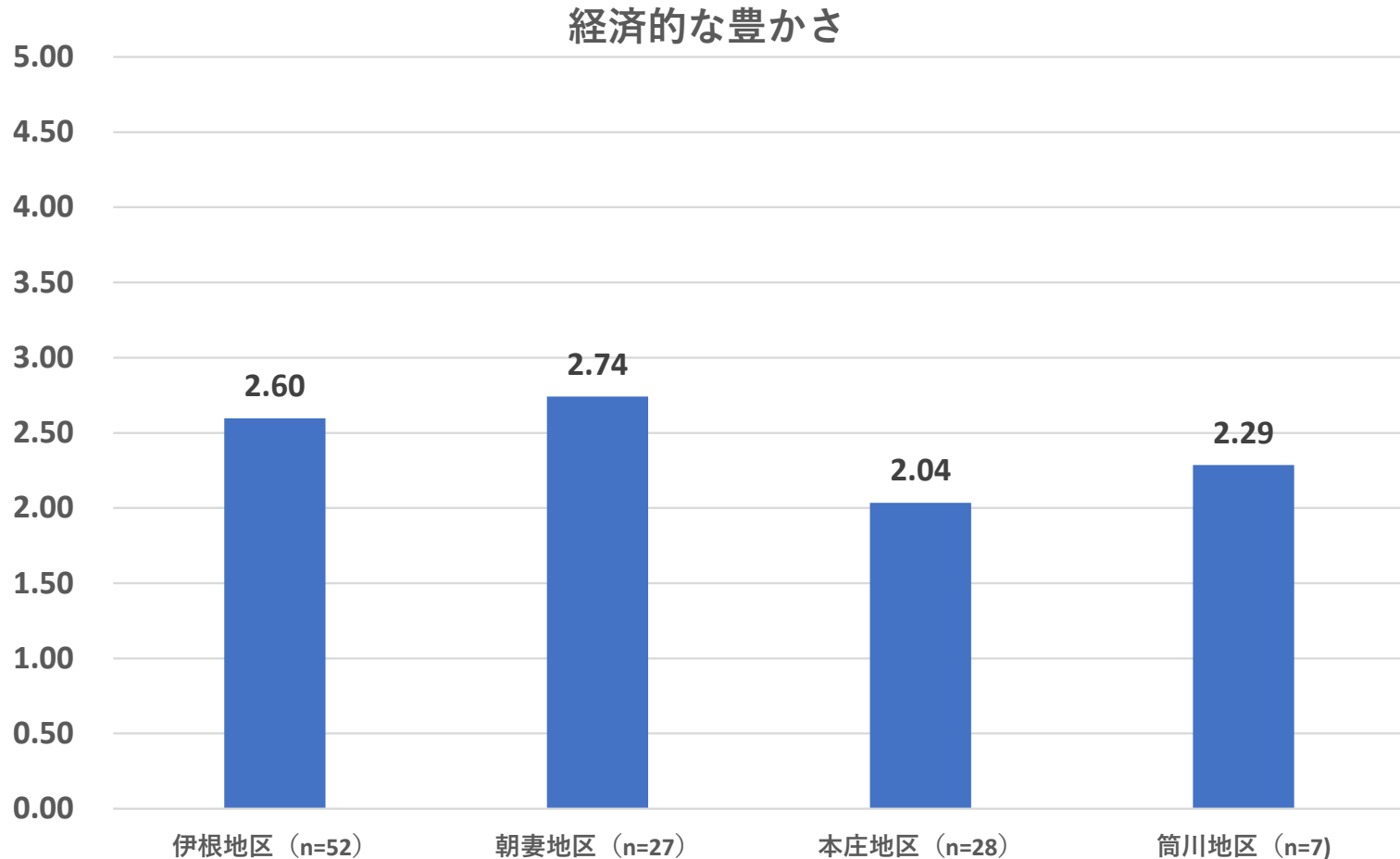
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 年代別の到達度評価③



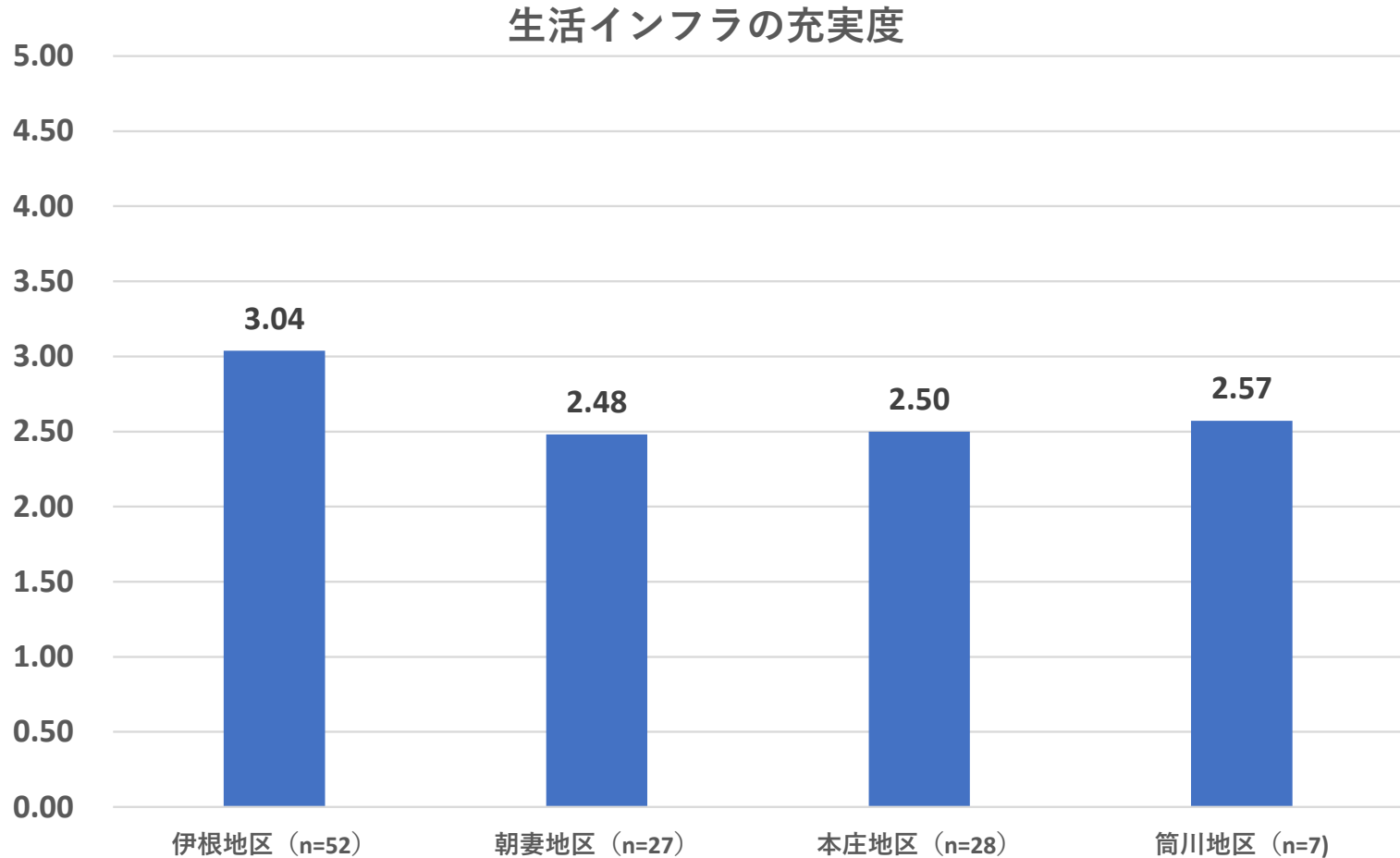
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 居住地区別の到達度評価①



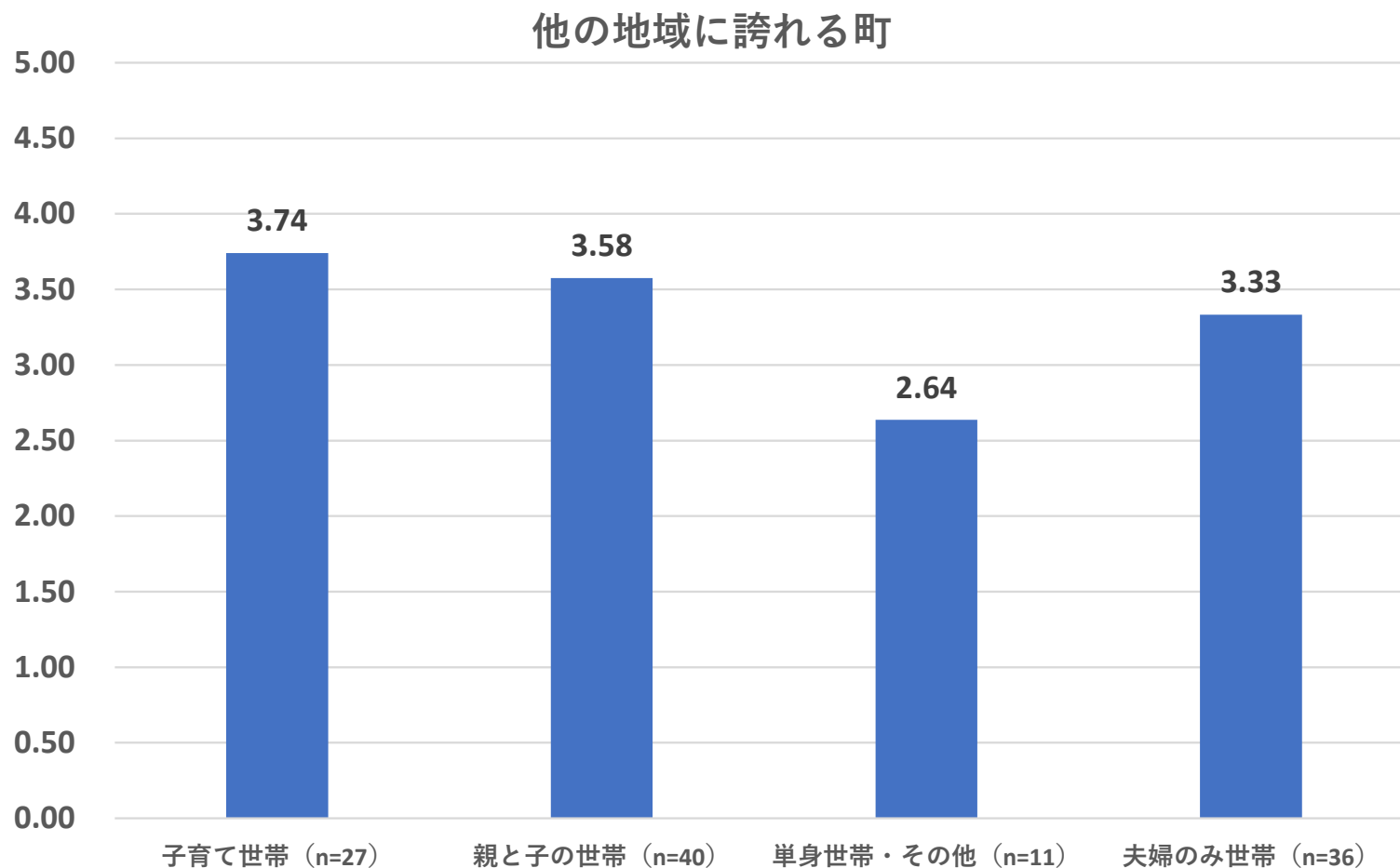
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差($p<.05$)が認められた。)

◆ 居住地区別の到達度評価②



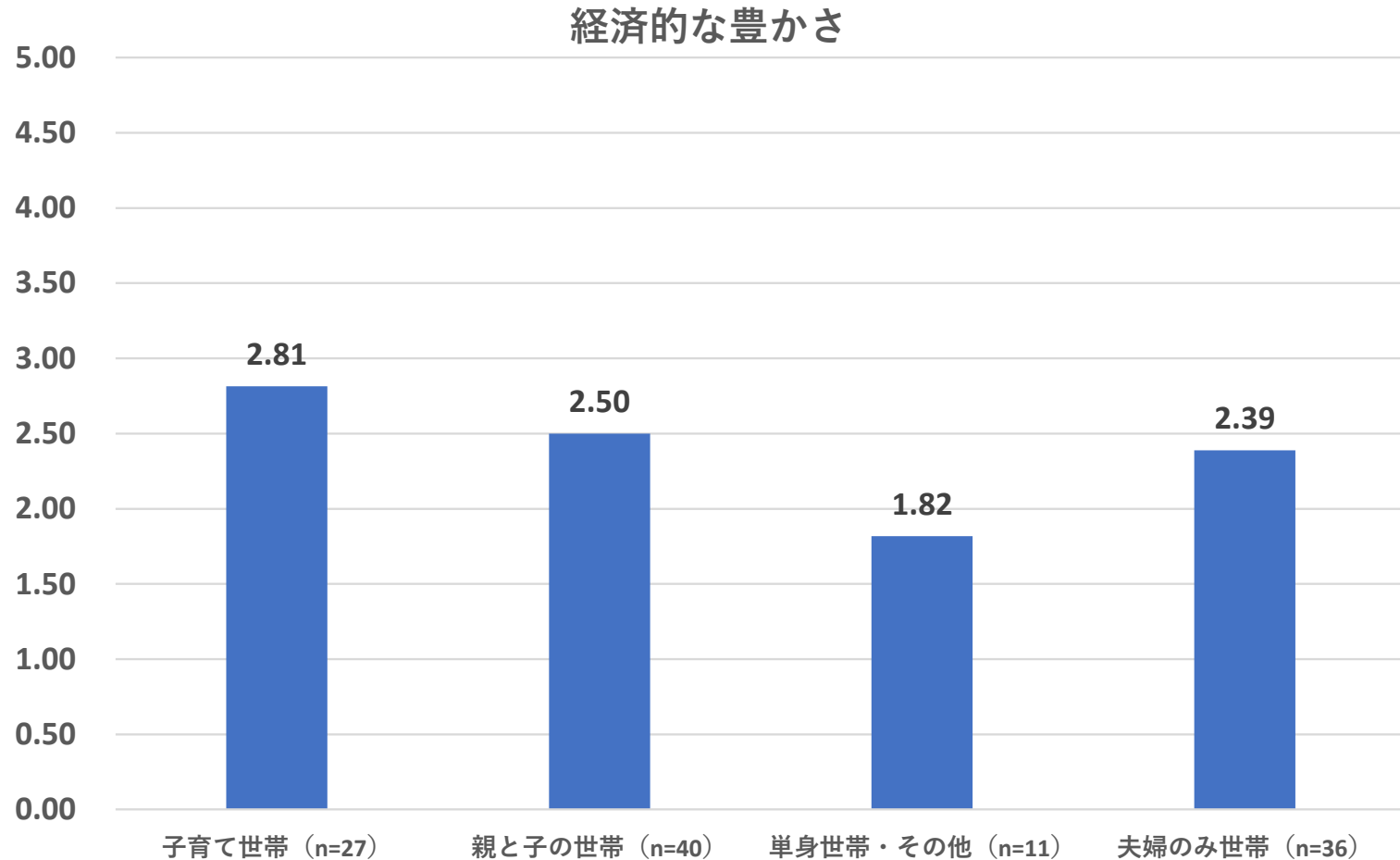
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 世帯区別の到達度評価①



(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .01$) が認められた。)

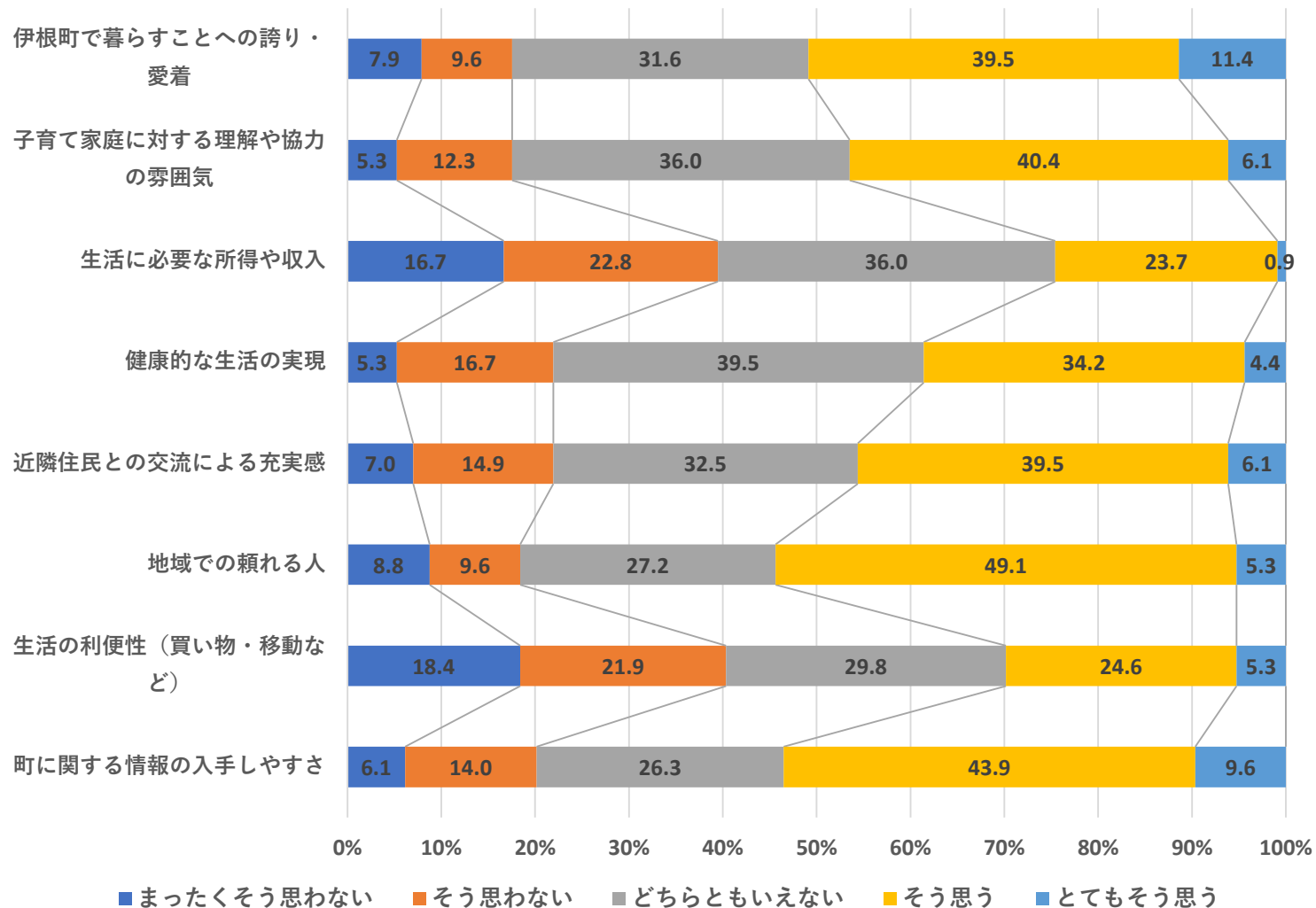
◆ 世帯区別の到達度評価②



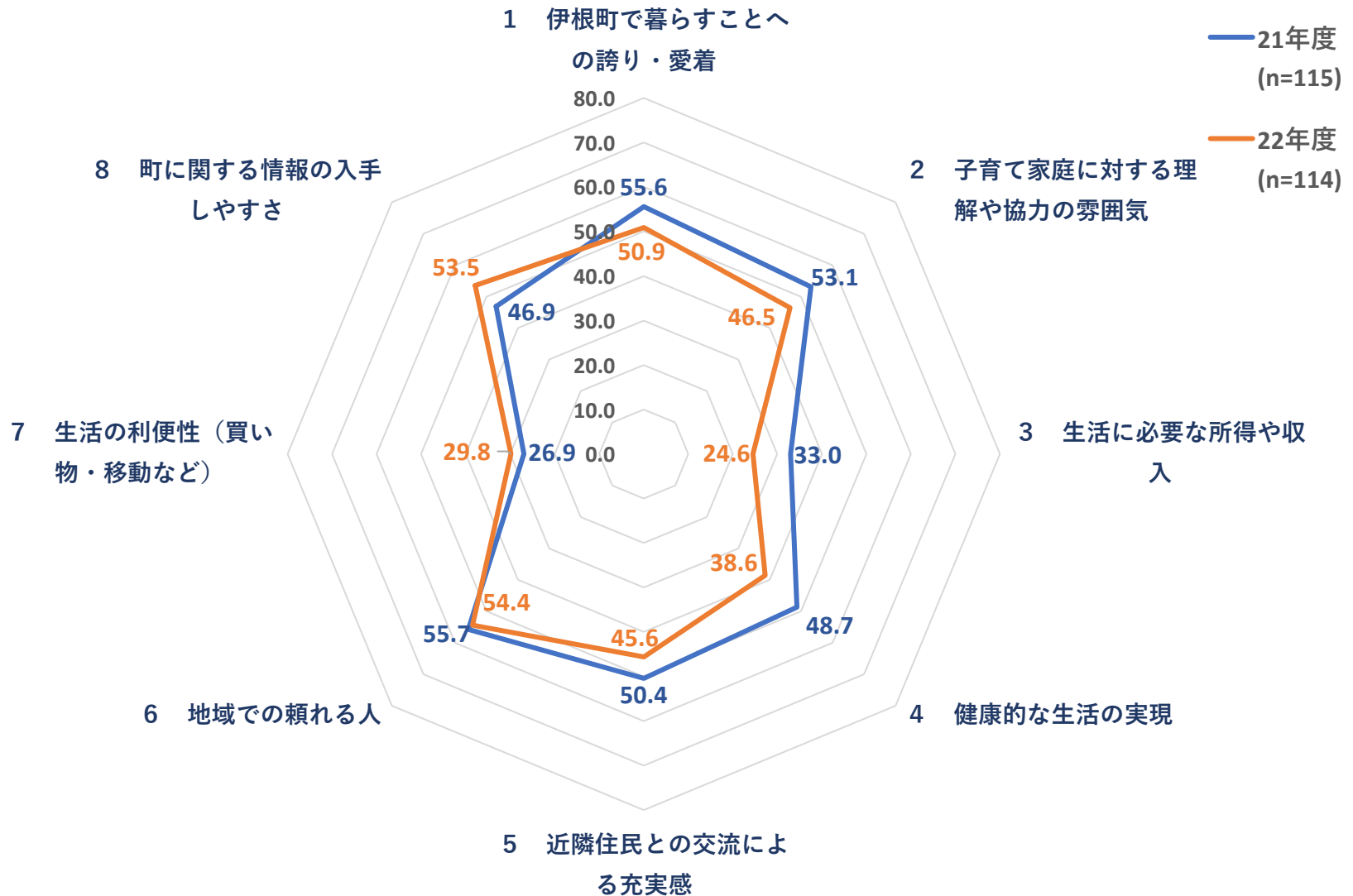
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差($p<.05$)が認められた。)

3. 町民の実感

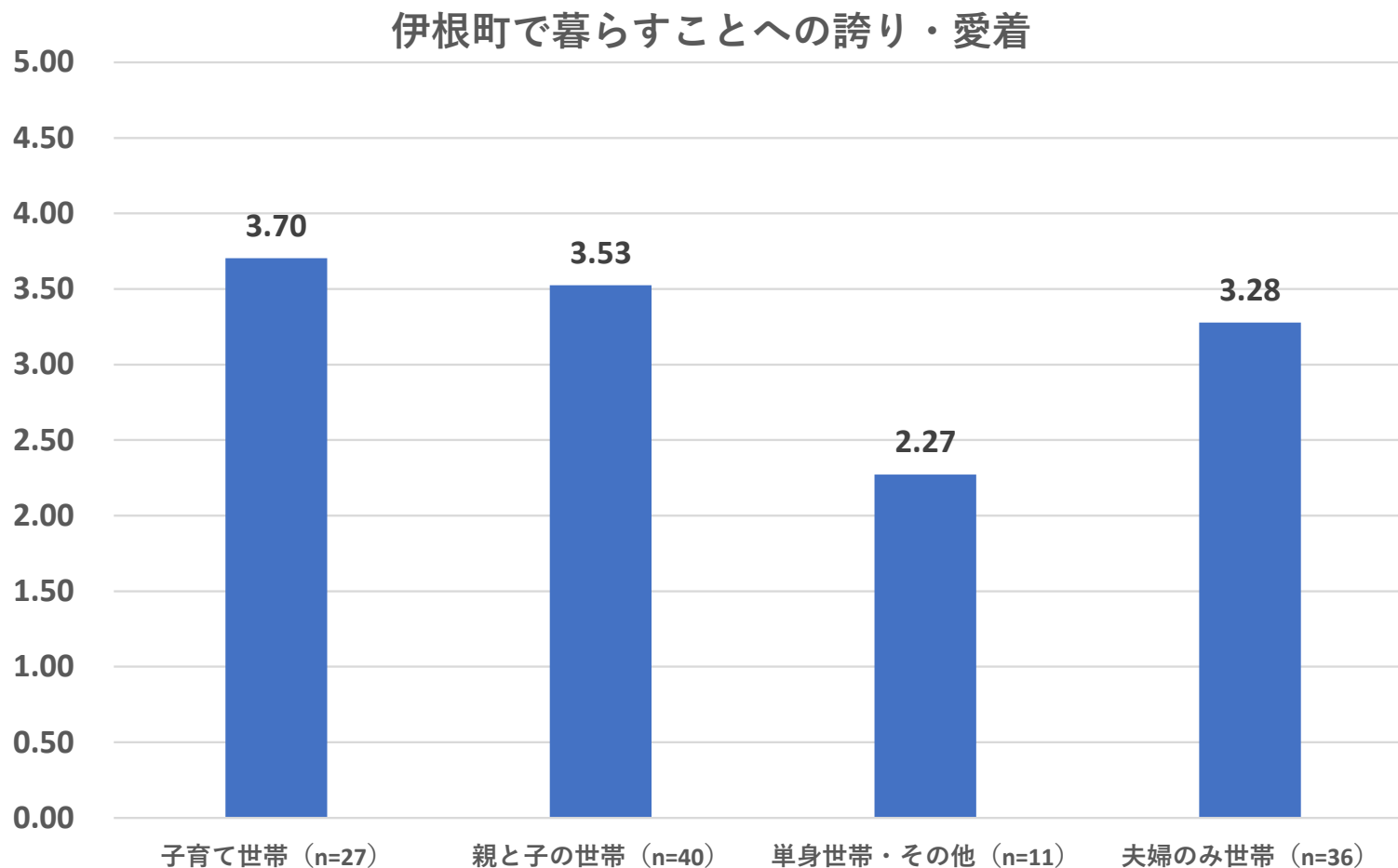
◆ 町民の実感(22年度・n=114)



◆ 町民の実感(21-22年度)

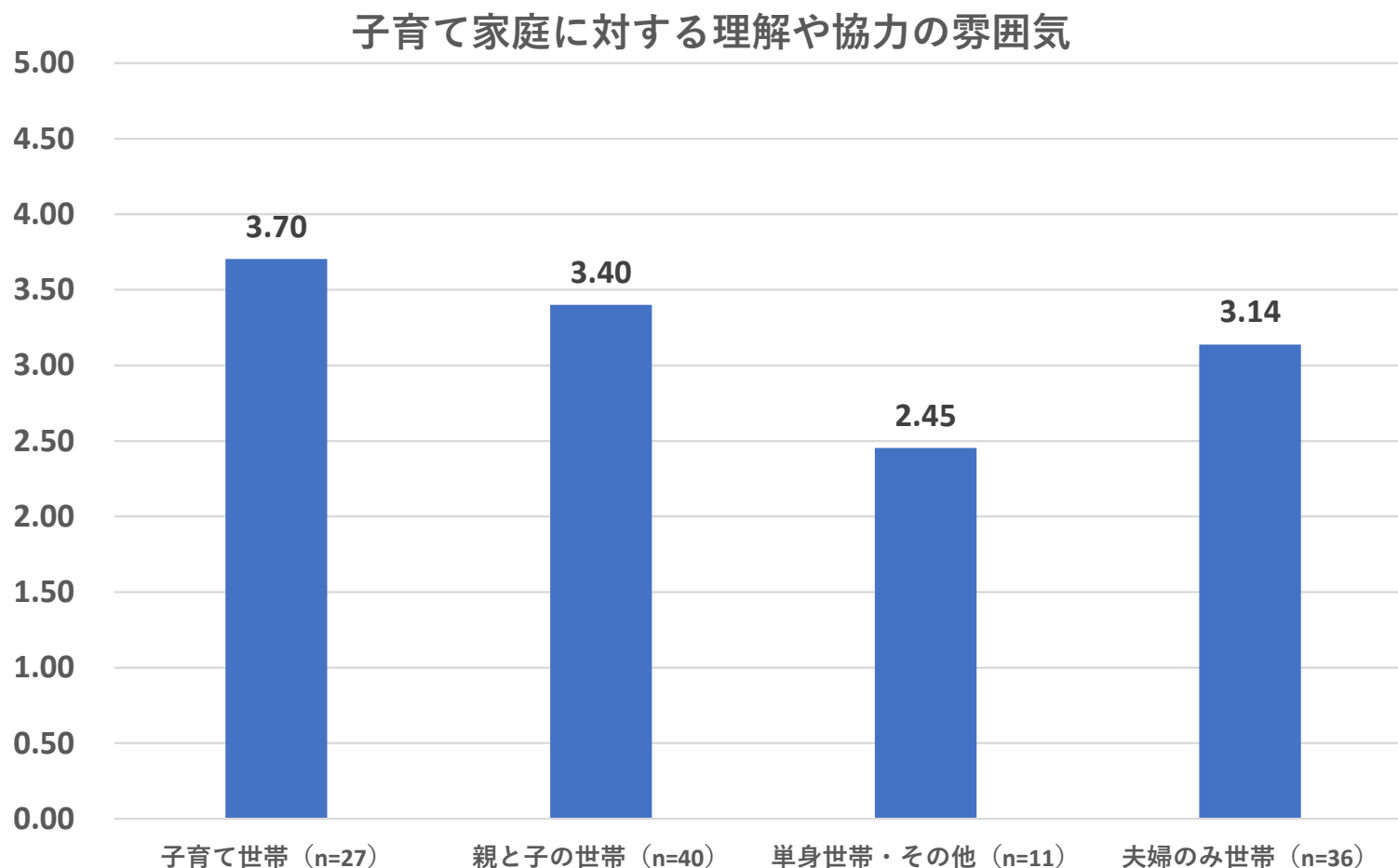


◆ 世帯区別の到達度評価①



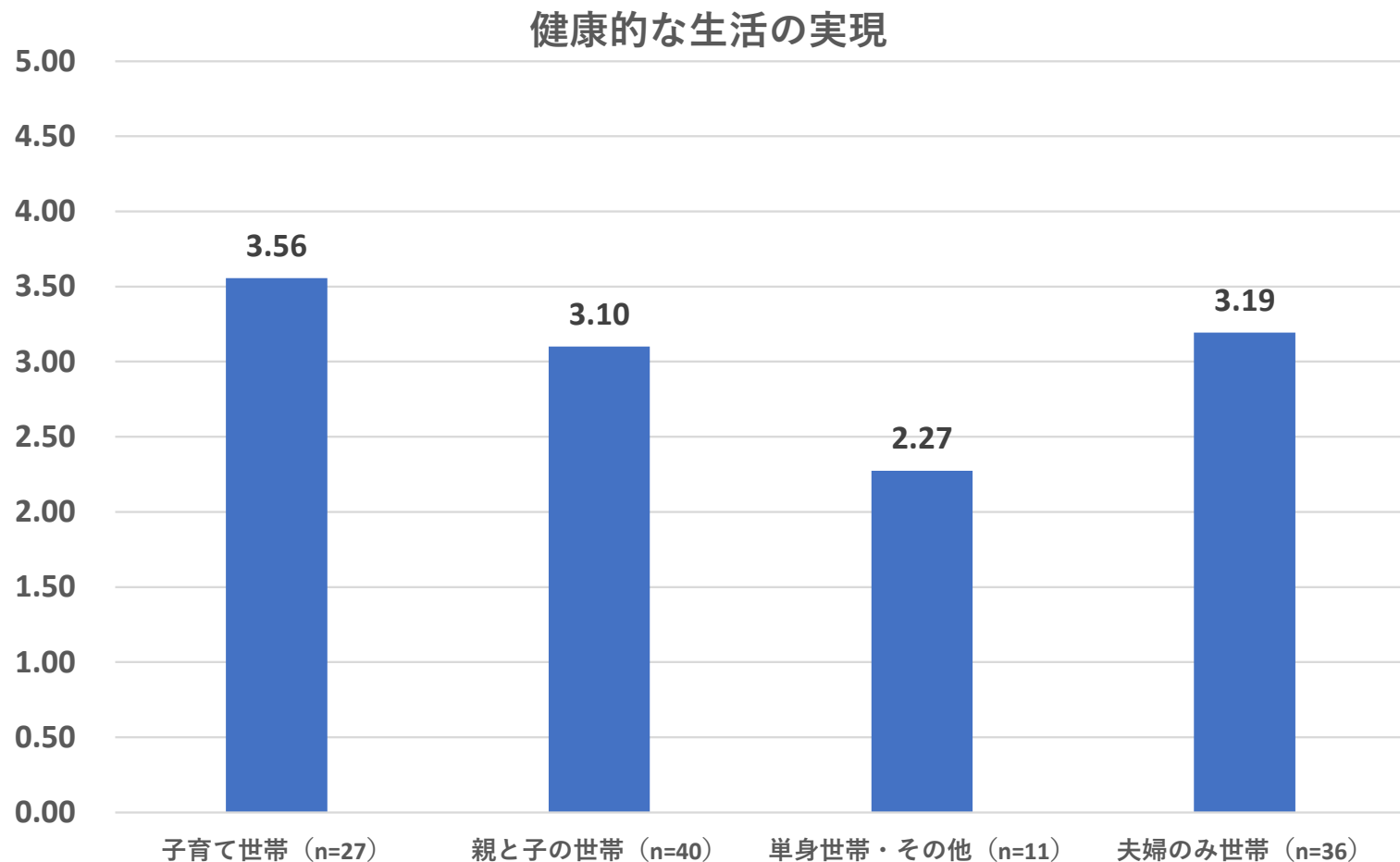
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差($p<.01$)が認められた。)

◆ 世帯区別の到達度評価②



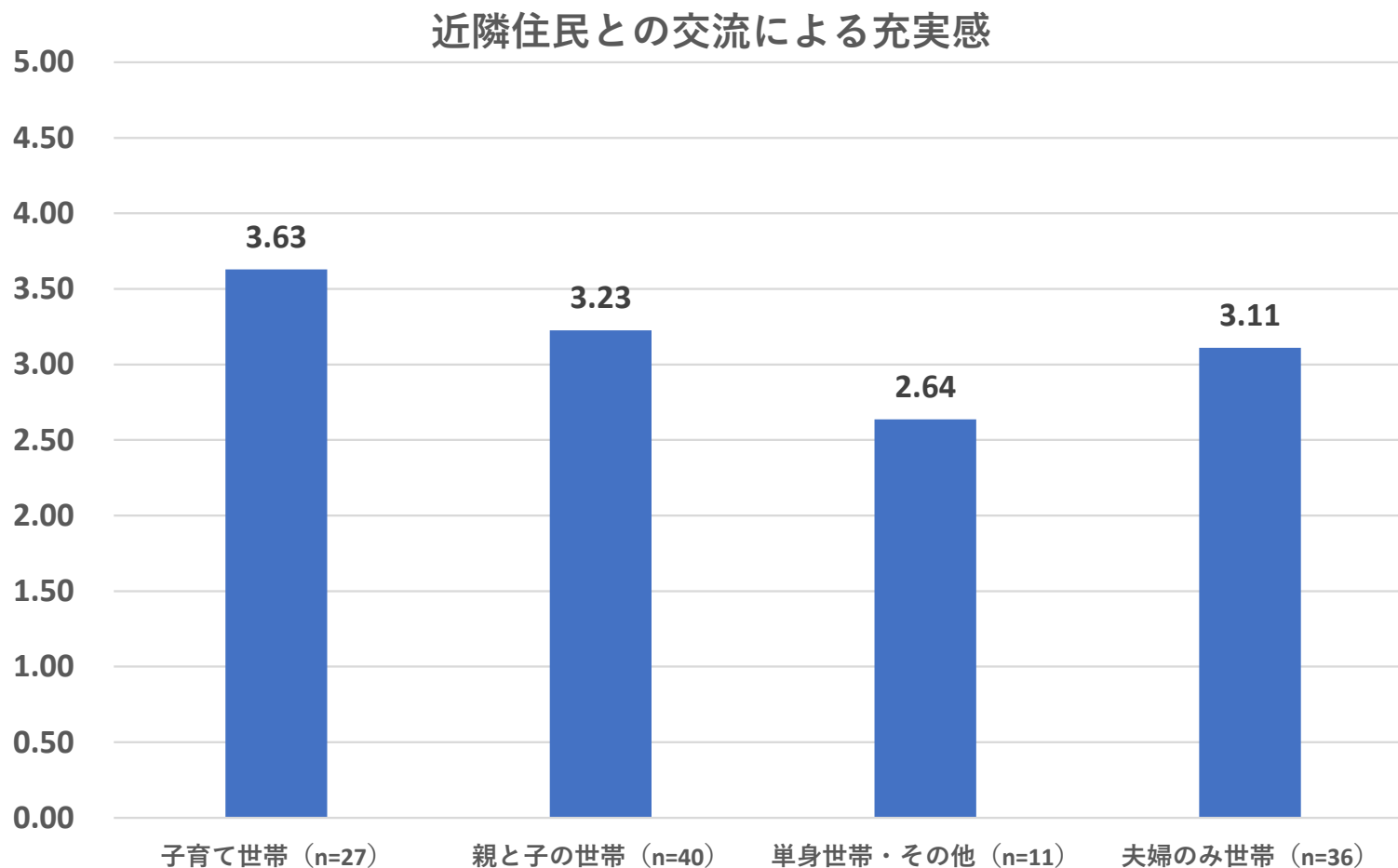
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差($p<.01$)が認められた。)

◆ 世帯区別の到達度評価③



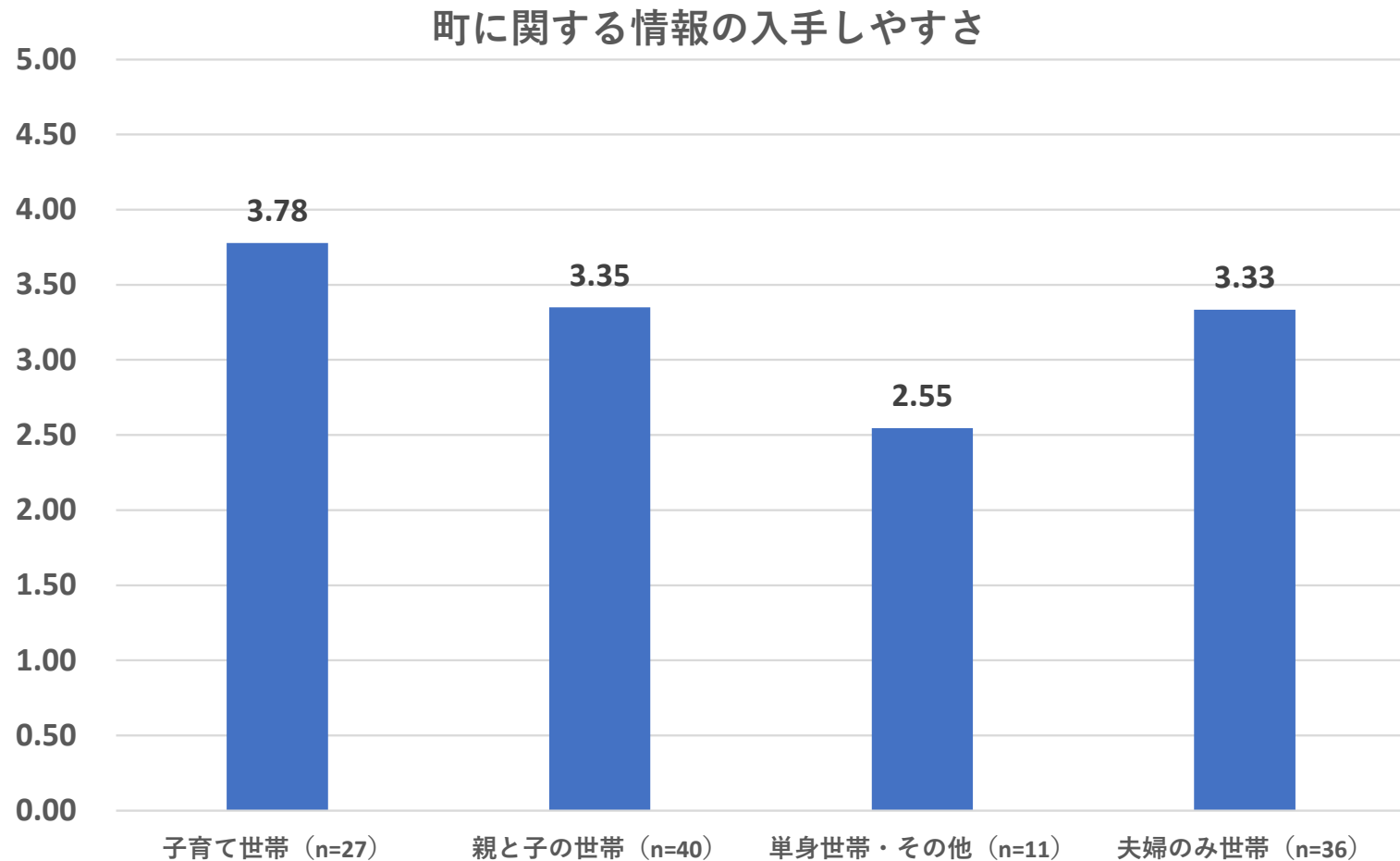
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .01$) が認められた。)

◆ 世帯区別の到達度評価④



(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

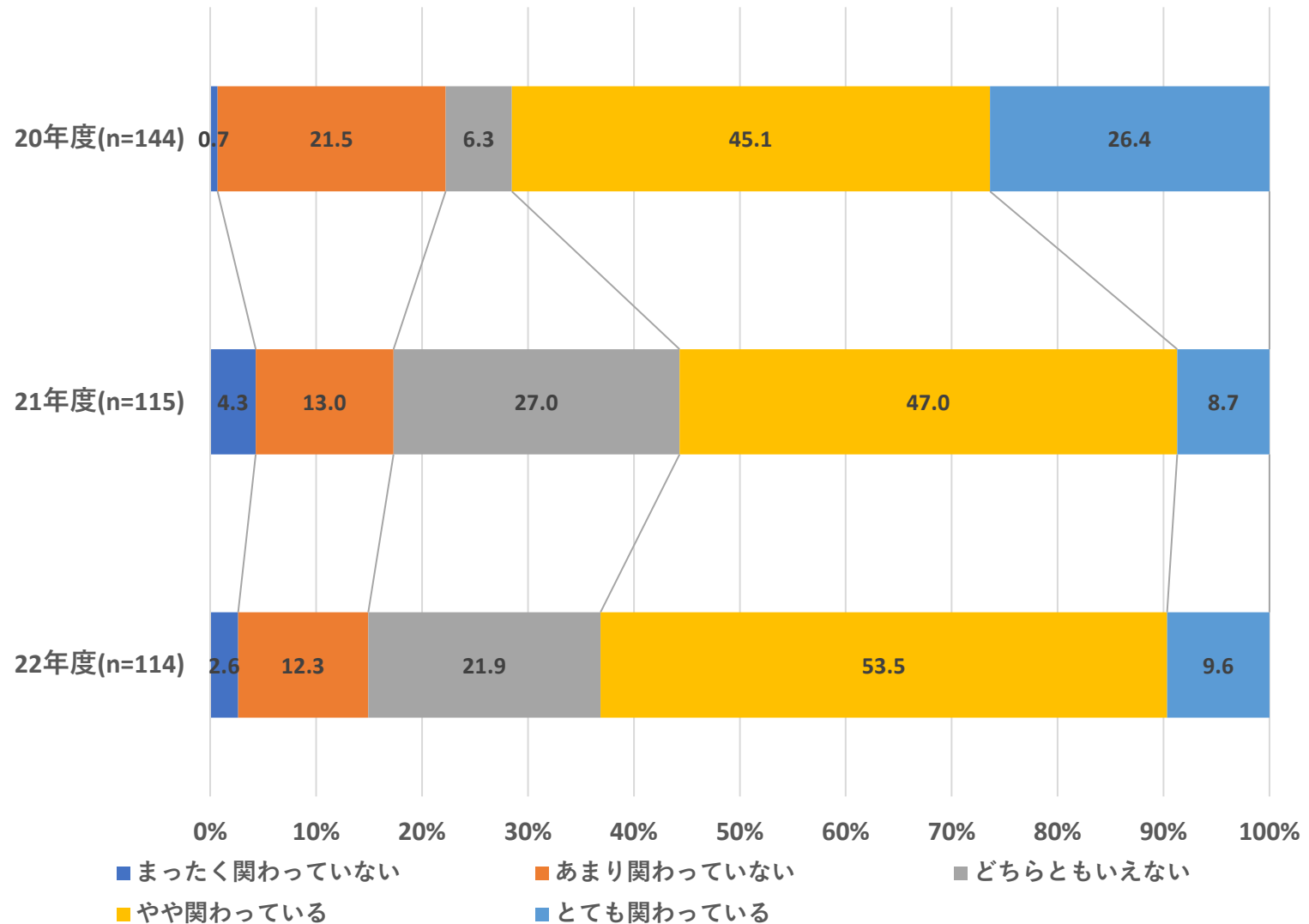
◆ 世帯区別の到達度評価⑤



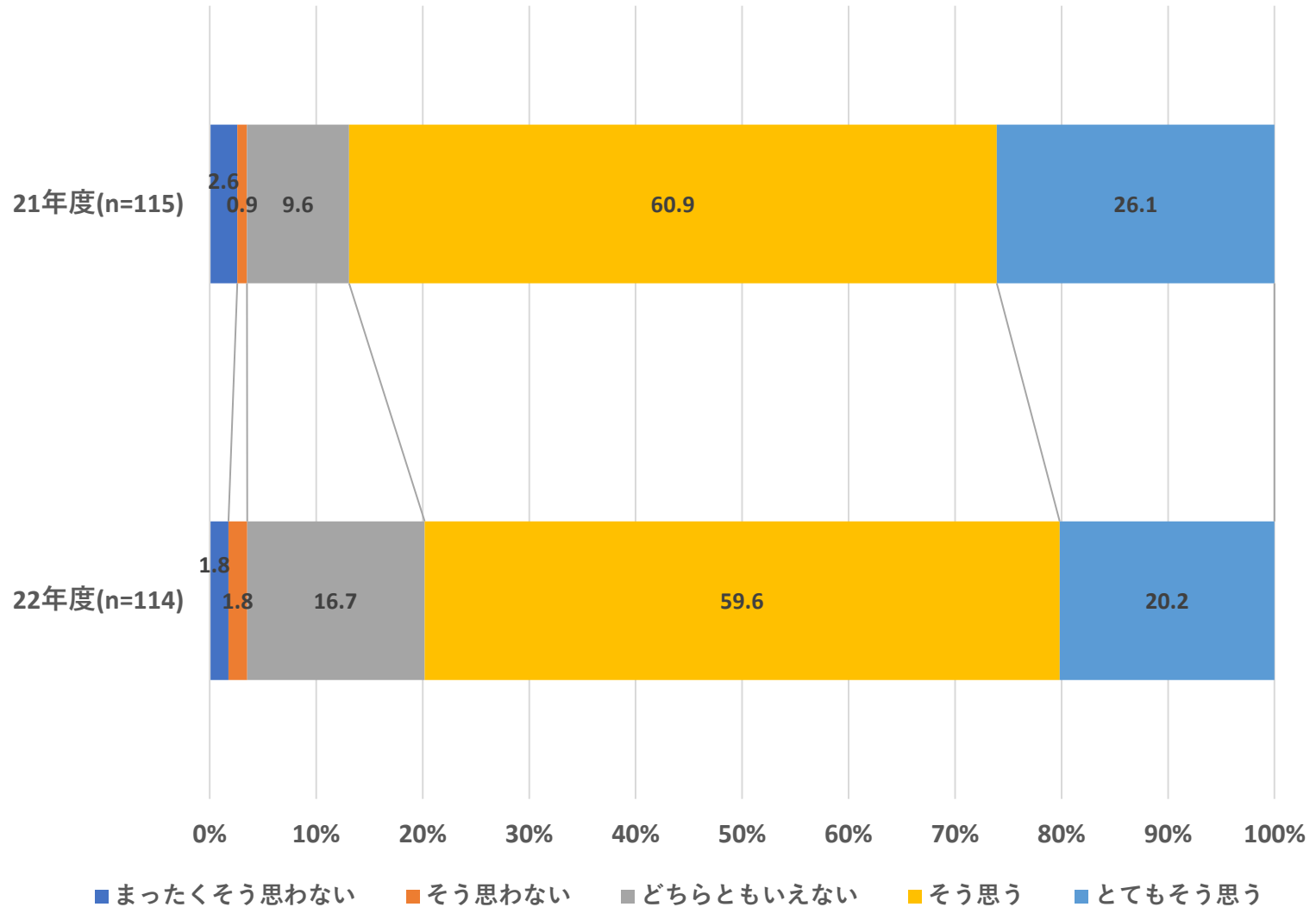
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差($p<.05$)が認められた。)

4. 町民の行動・意向

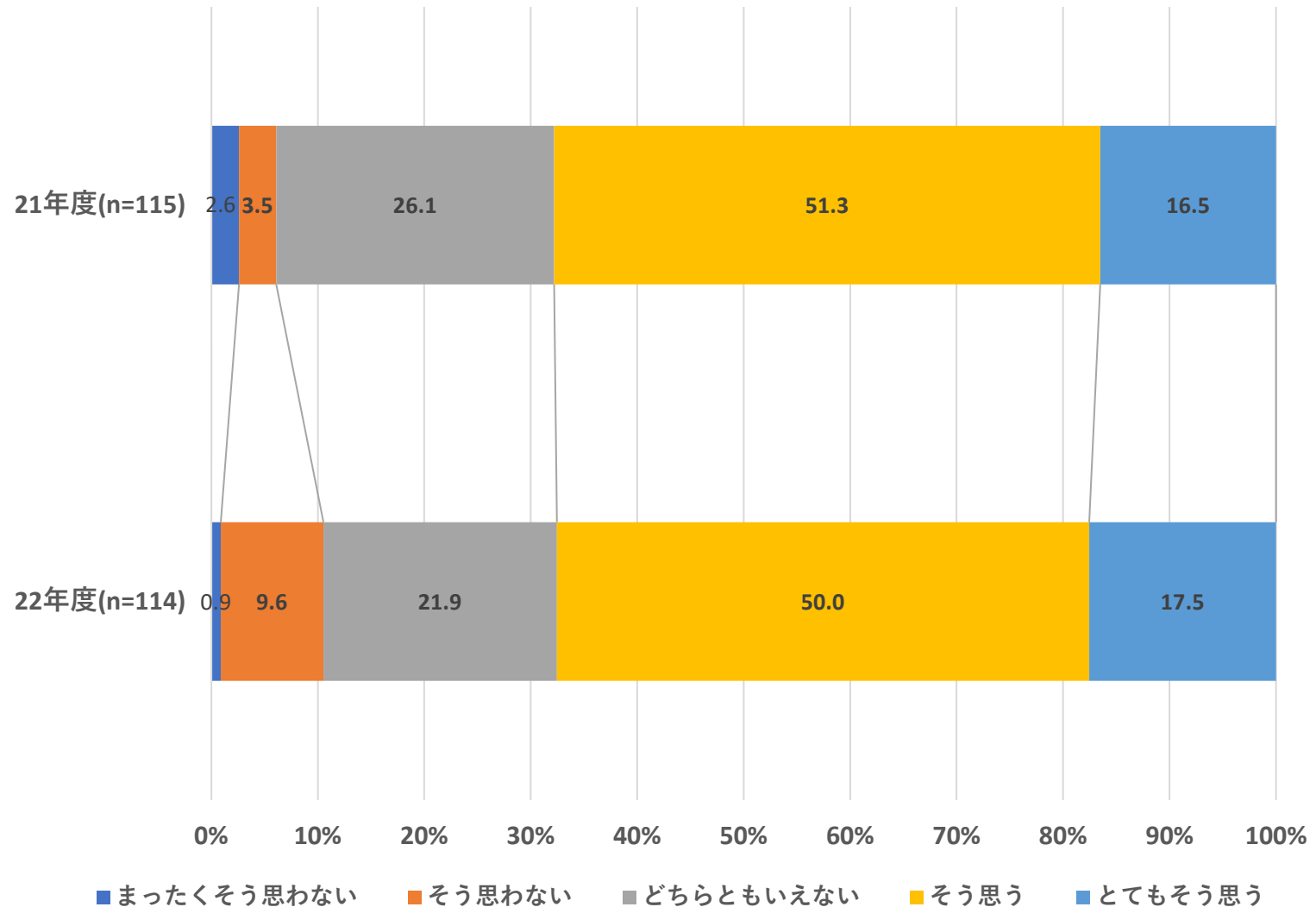
◆ 地区・地域活動への参加(20-22年度)



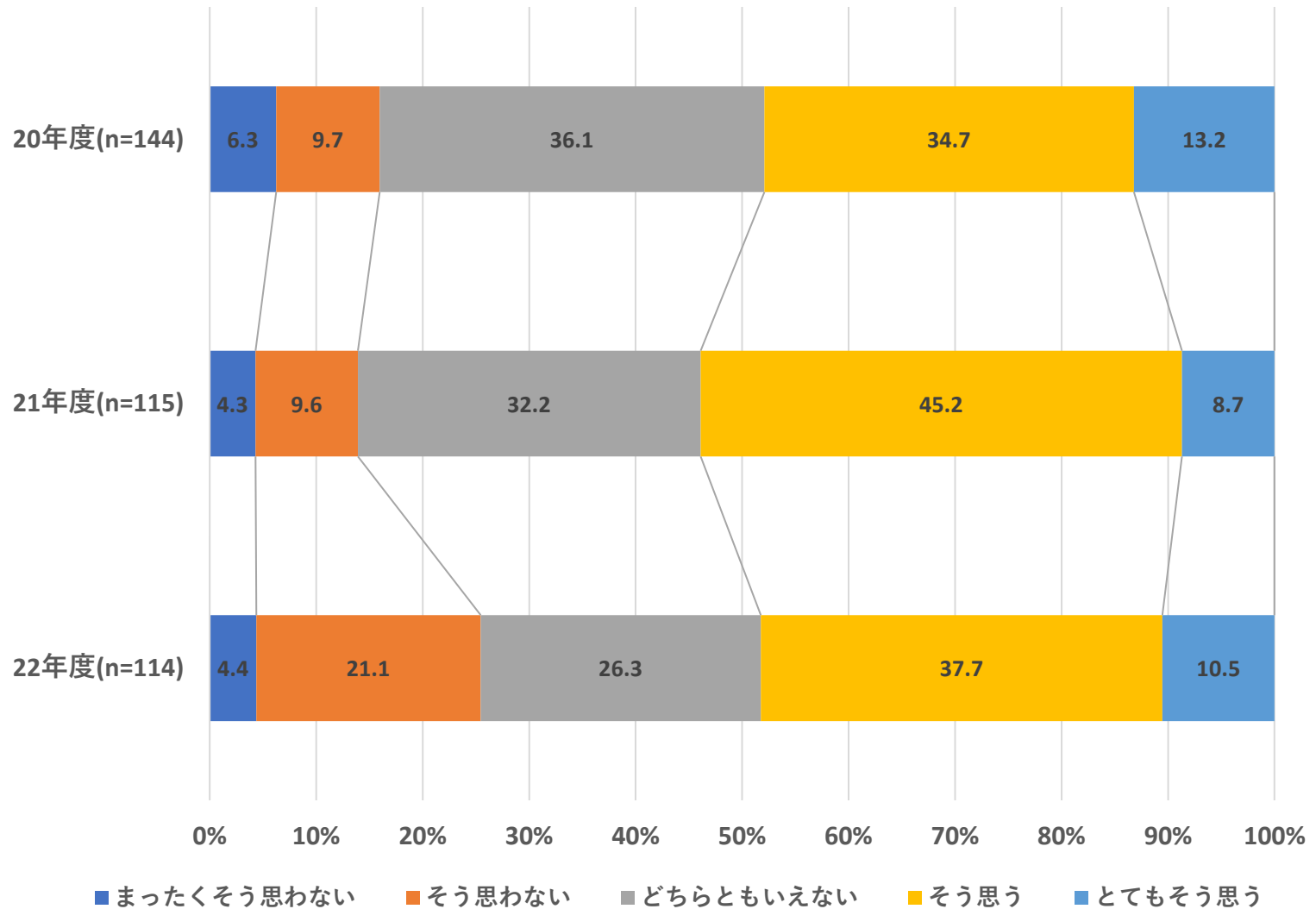
◆ 自然環境・景観の尊重意向(21-22年度)



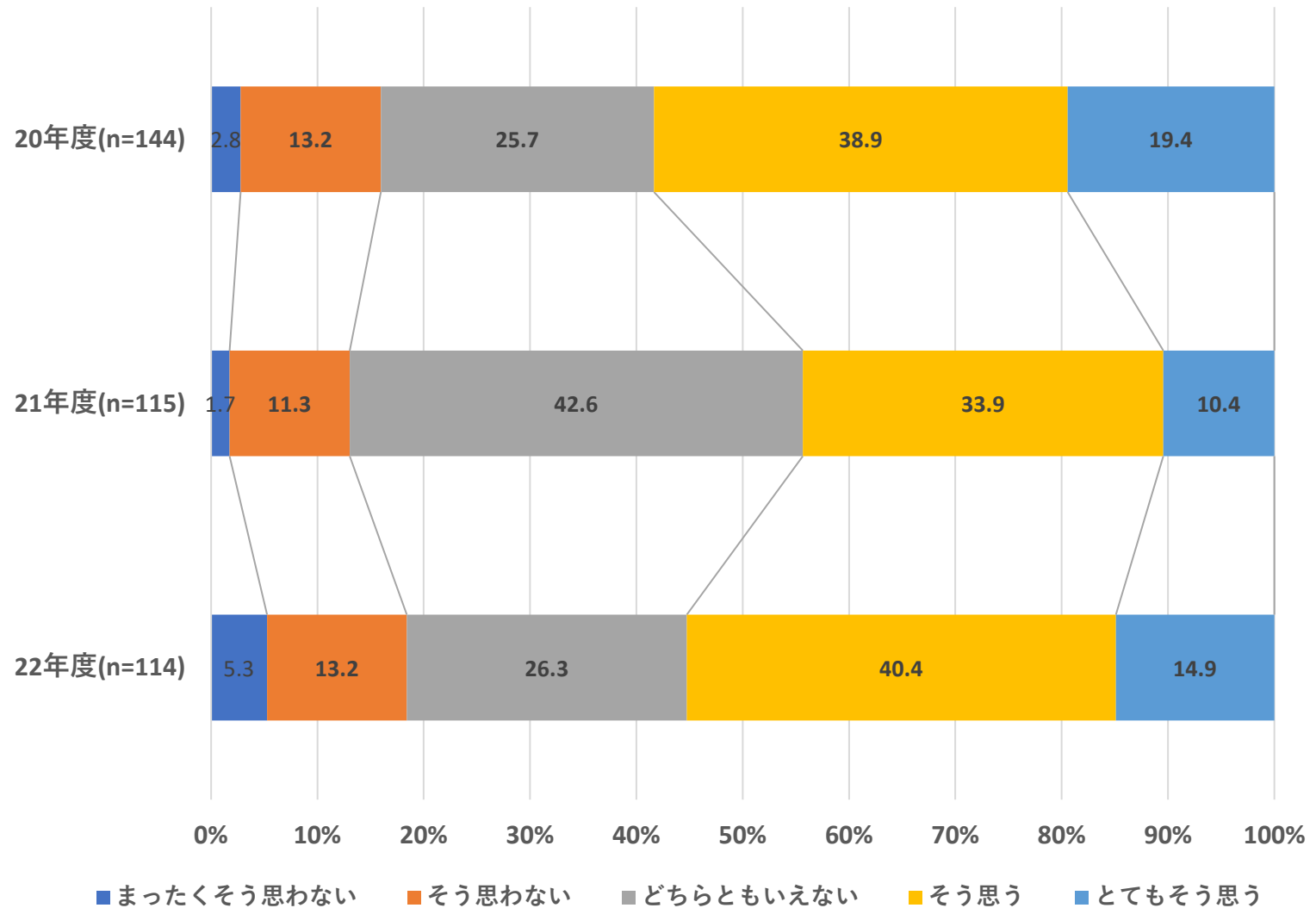
◆ 伝統・文化の継承意向(21-22年度)



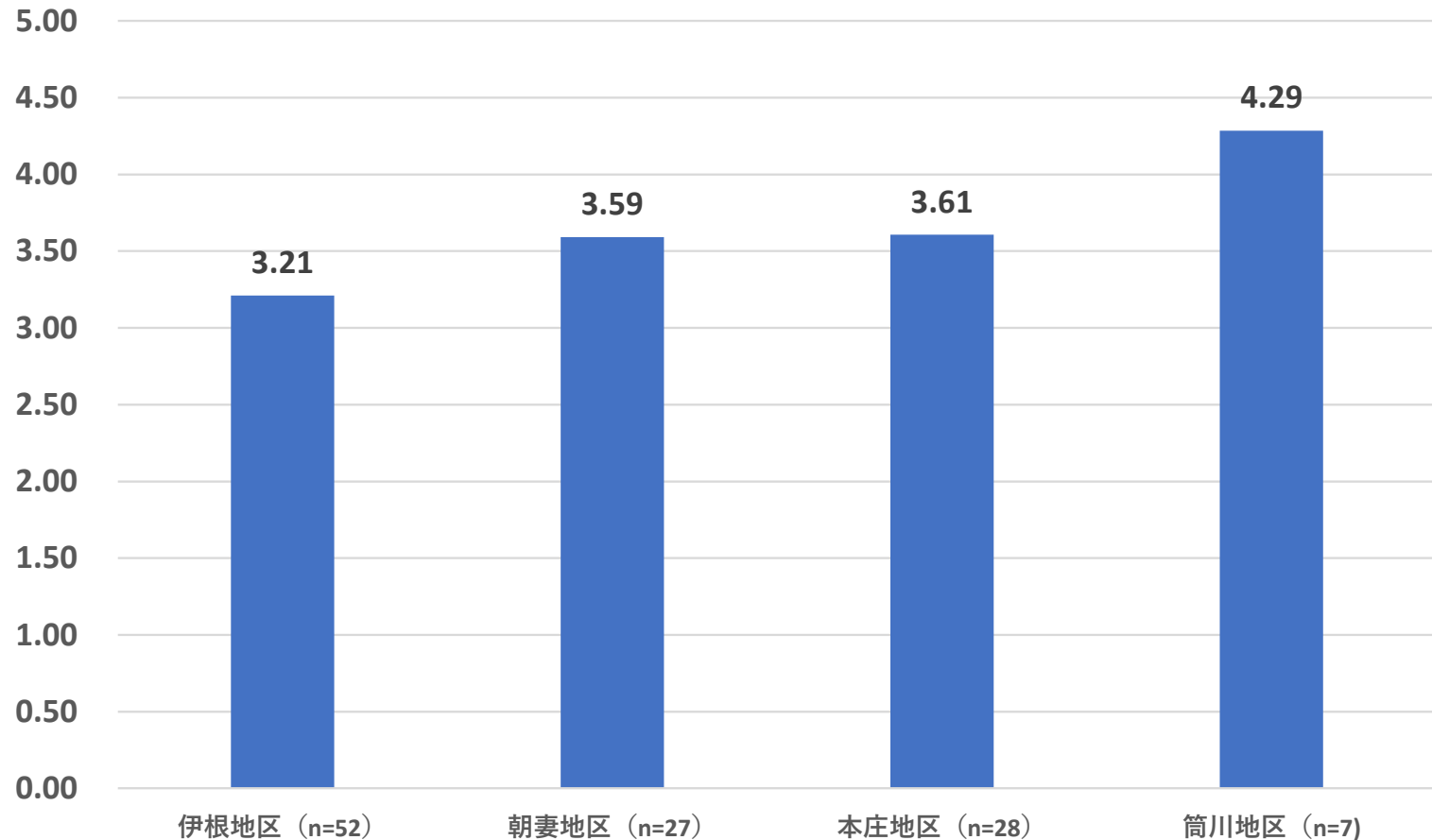
◆ 行政との協働意向(20-22年度)



◆ 観光者の歓迎意向(20-22年度)



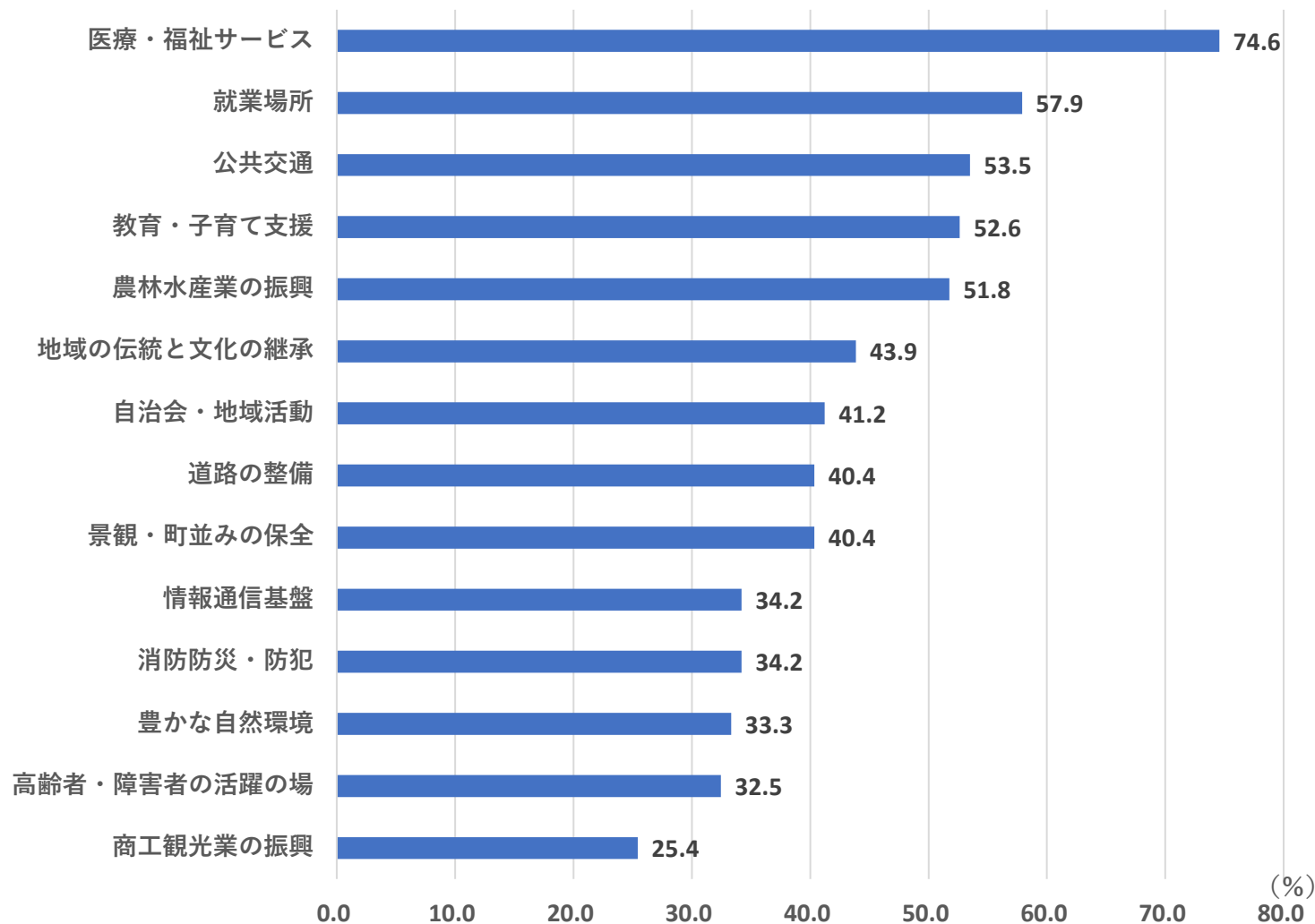
◆ 居住地区別の観光者歓迎意向



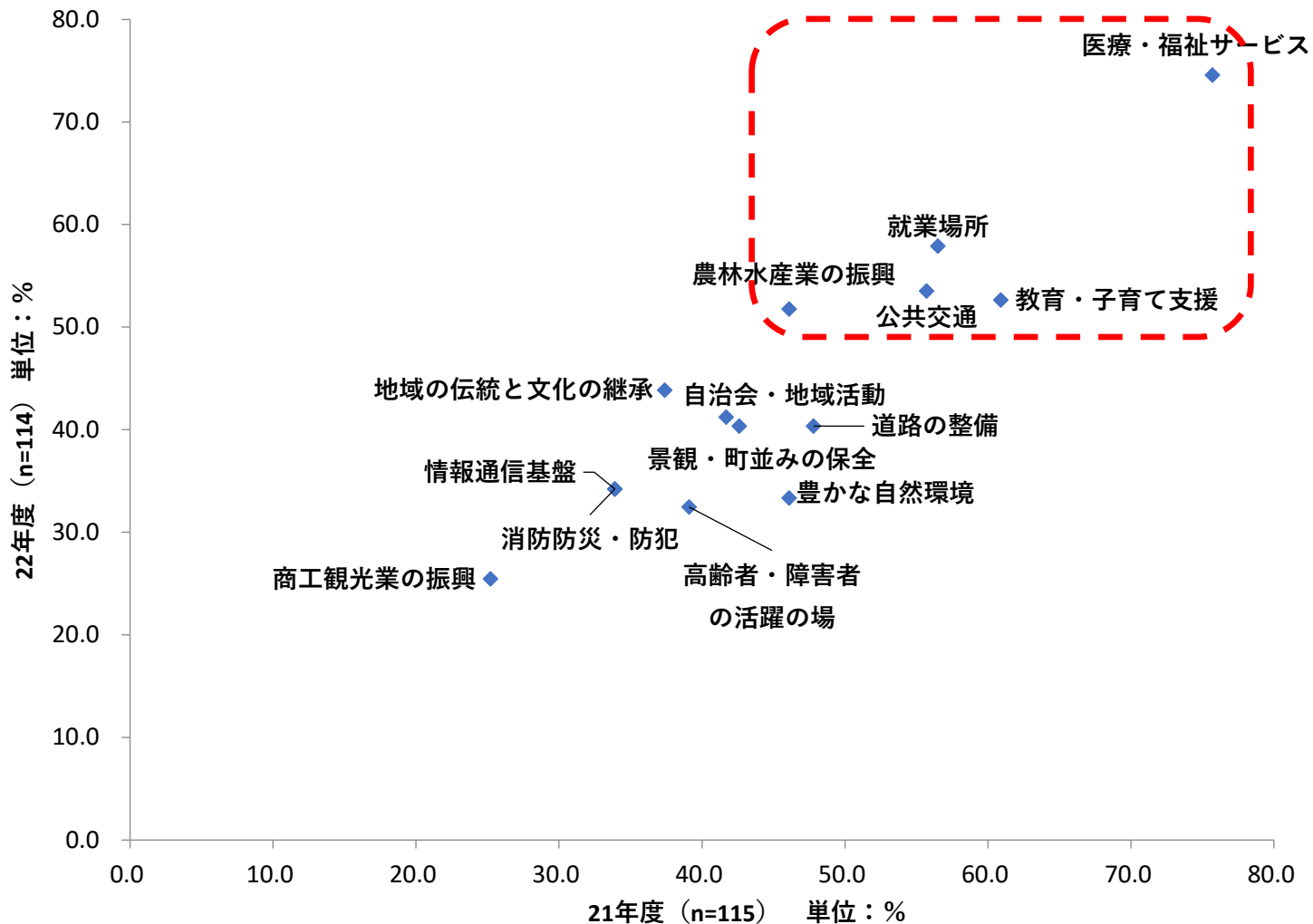
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差($p < .05$)が認められた。)

5. 町への要望

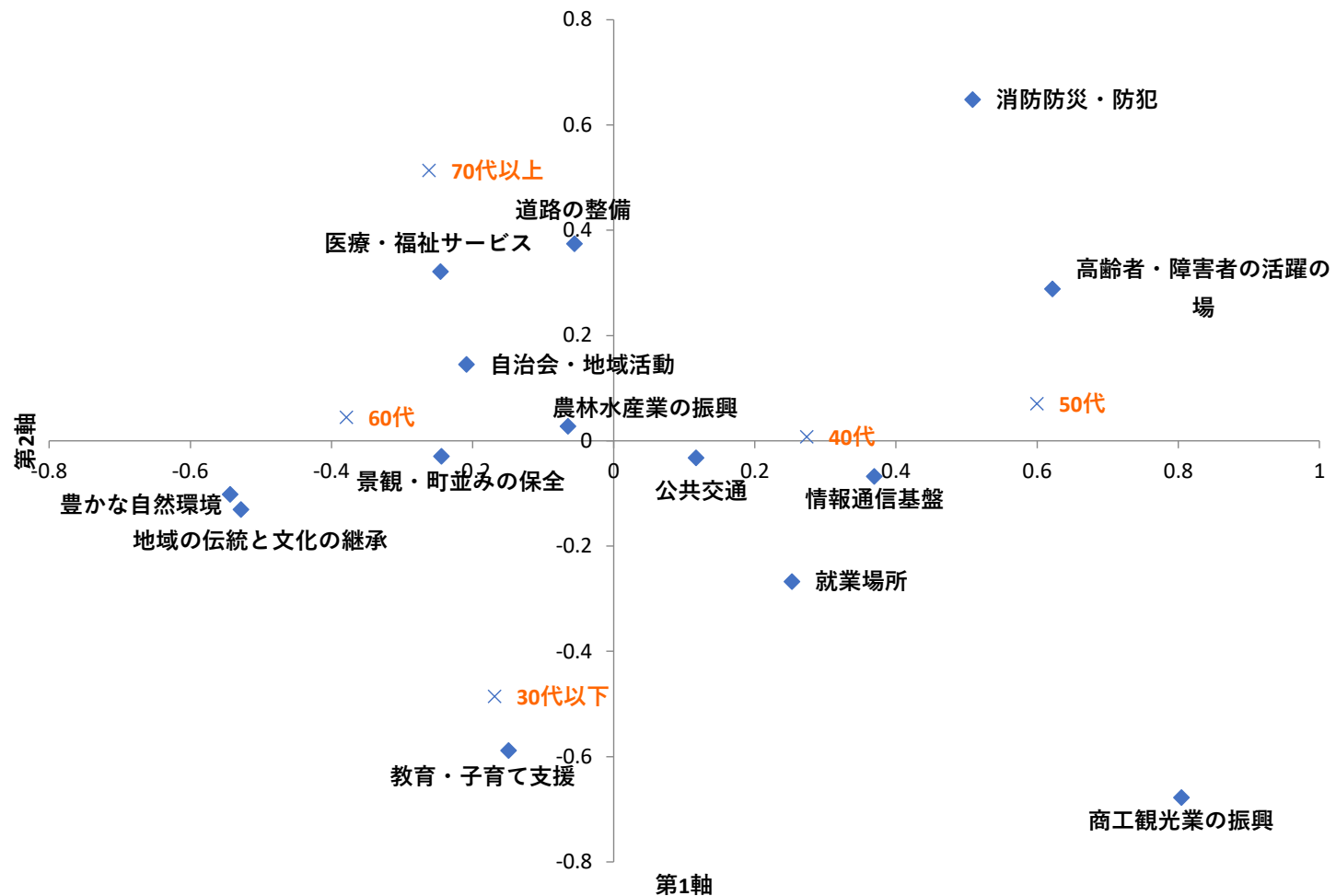
◆ まちづくりに必要なこと(22年度・n=114)



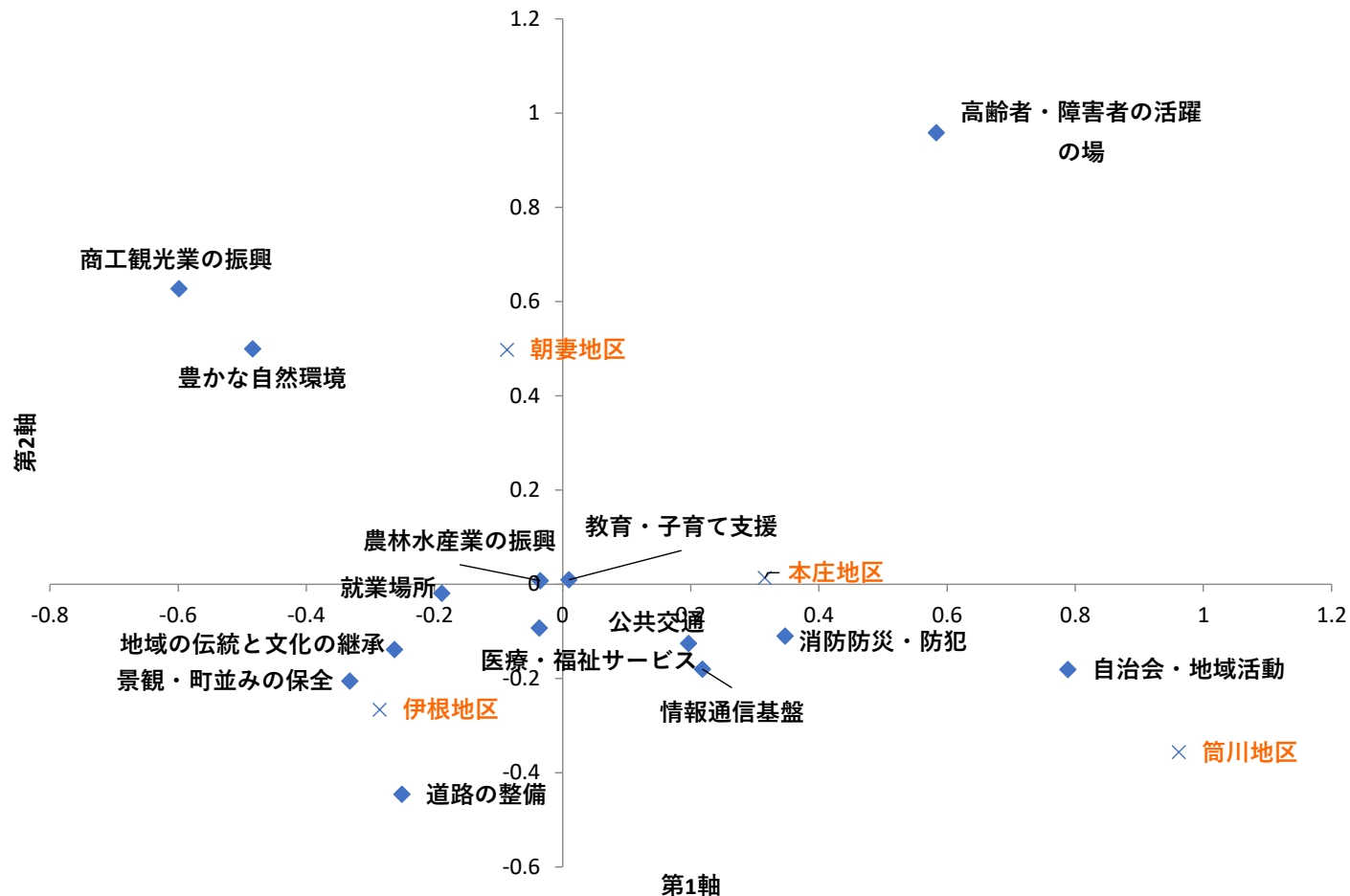
◆ まちづくりに必要なこと(21ー22年度)



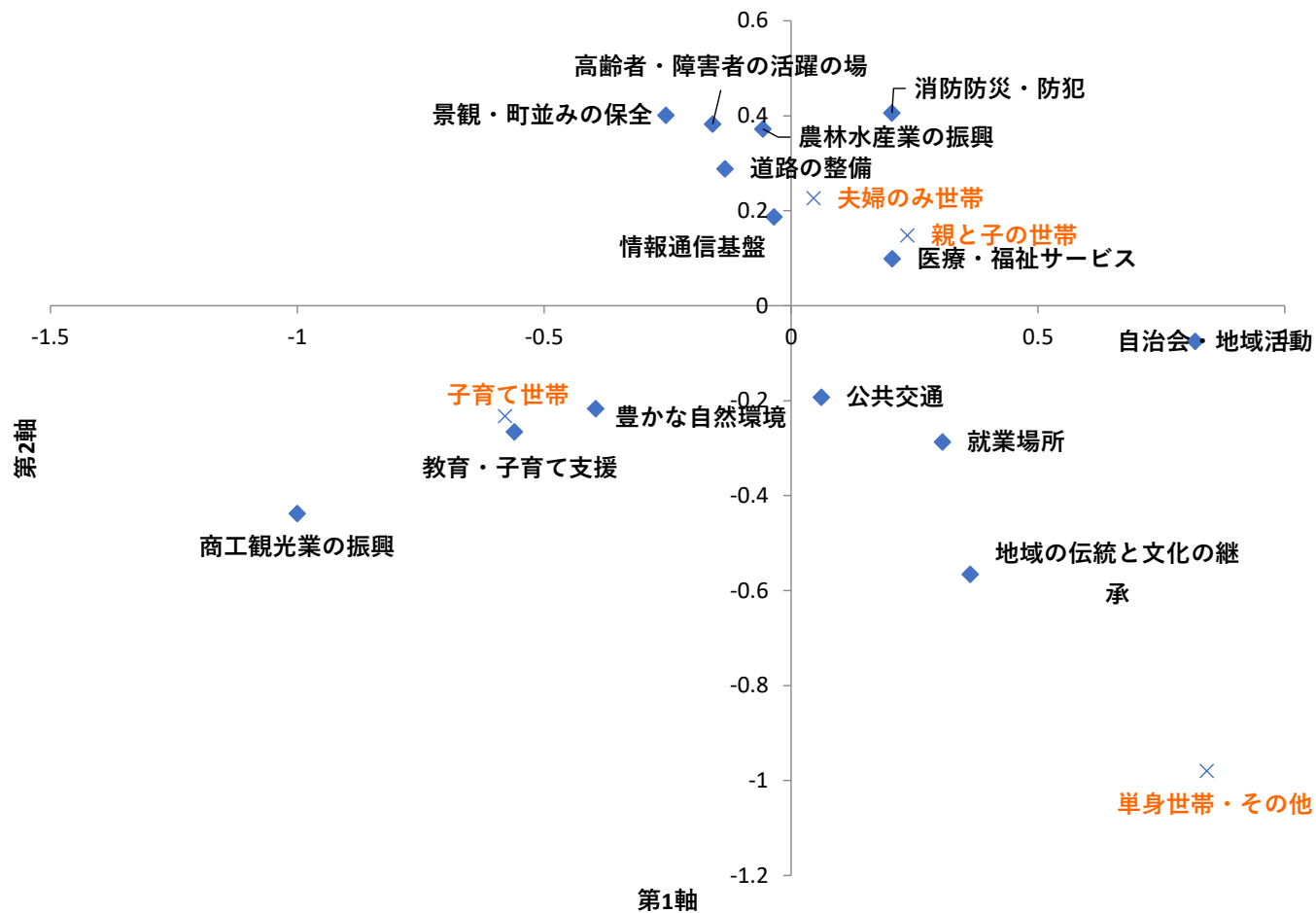
◆ 年代 × まちづくりに必要なこと



◆ 居住地区 × まちづくりに必要なこと

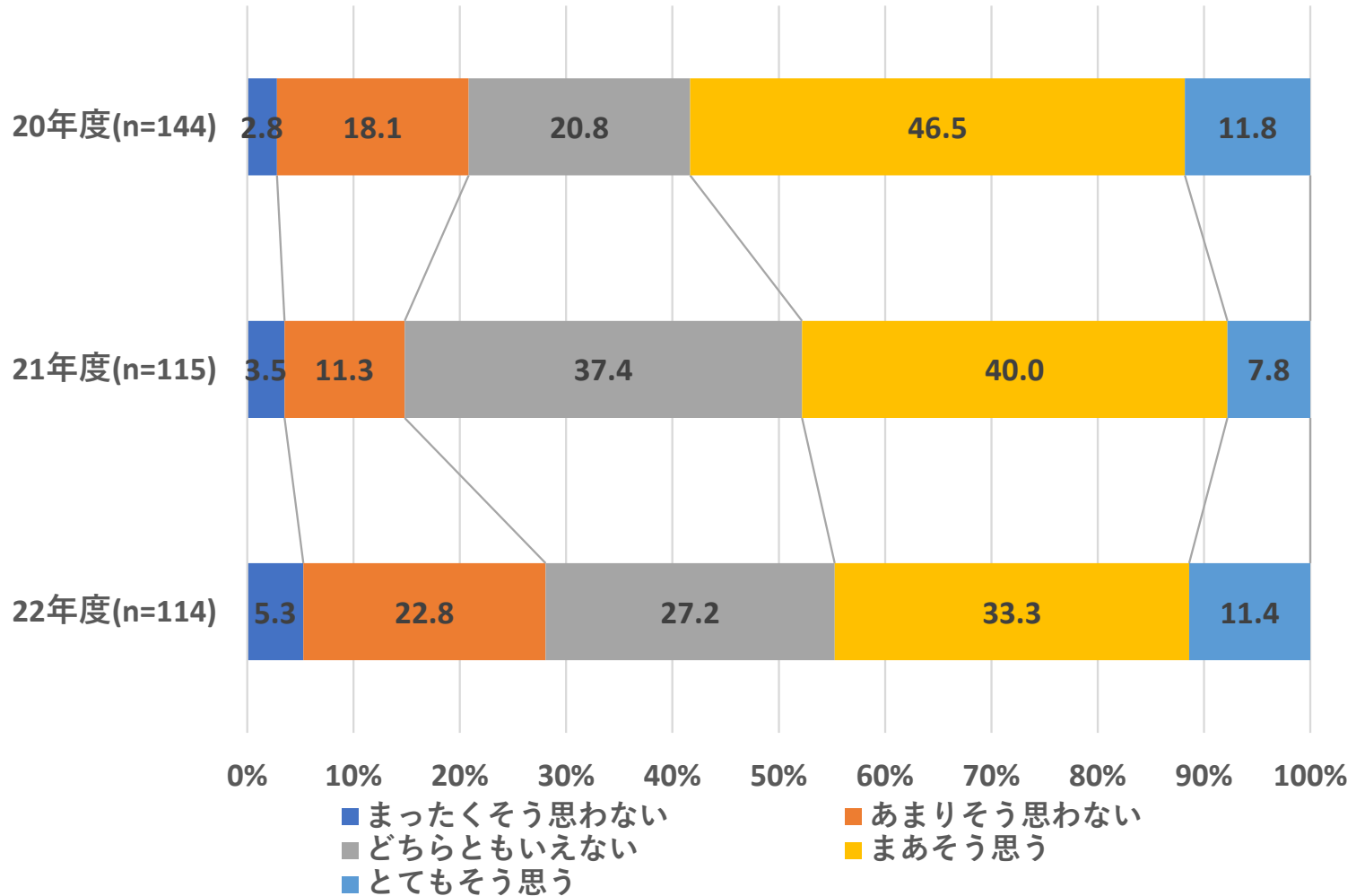


◆ 世帯区分 × まちづくりに必要なこと

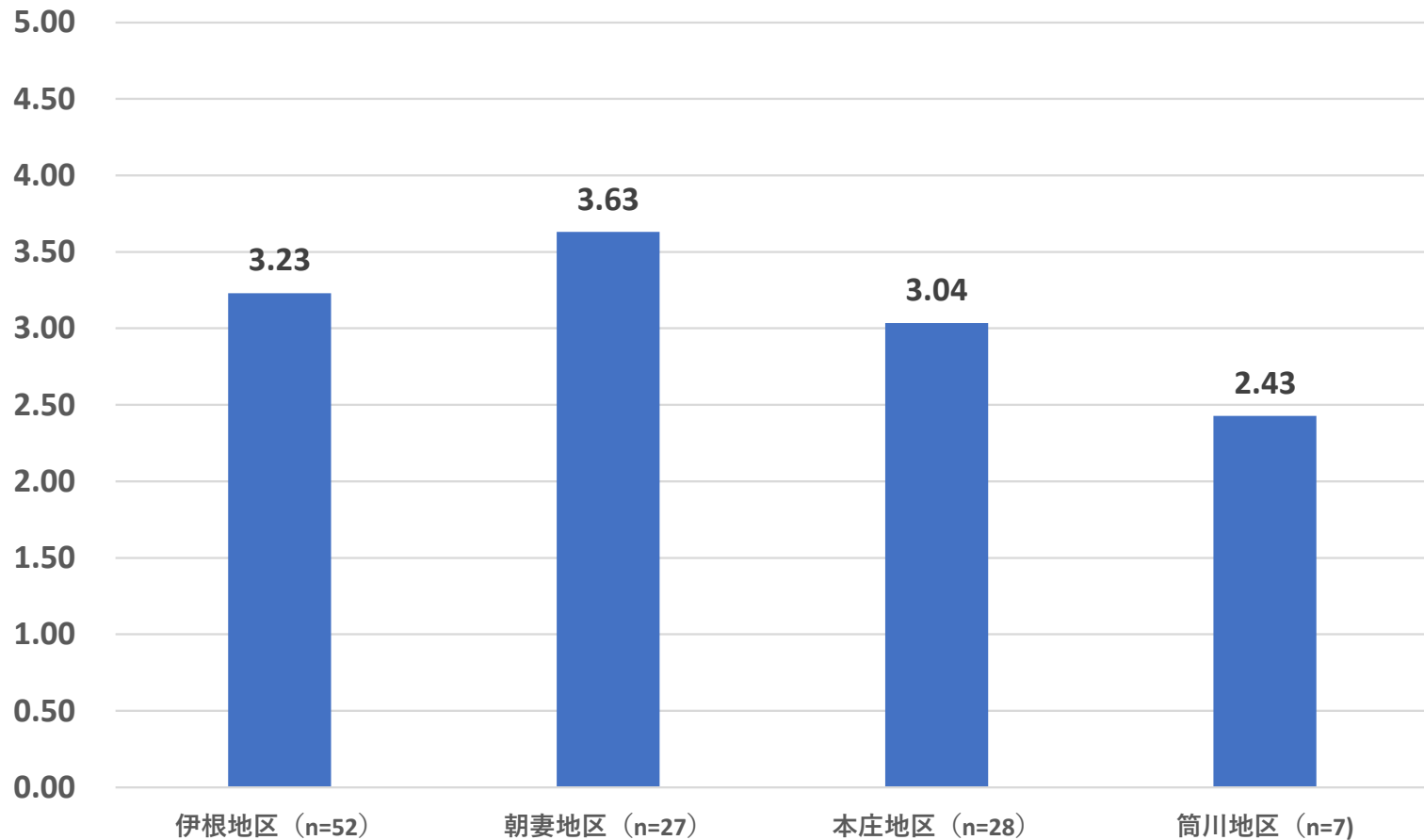


6. 総合的評価

◆ 伊根町の住みやすさ(20-22年度)

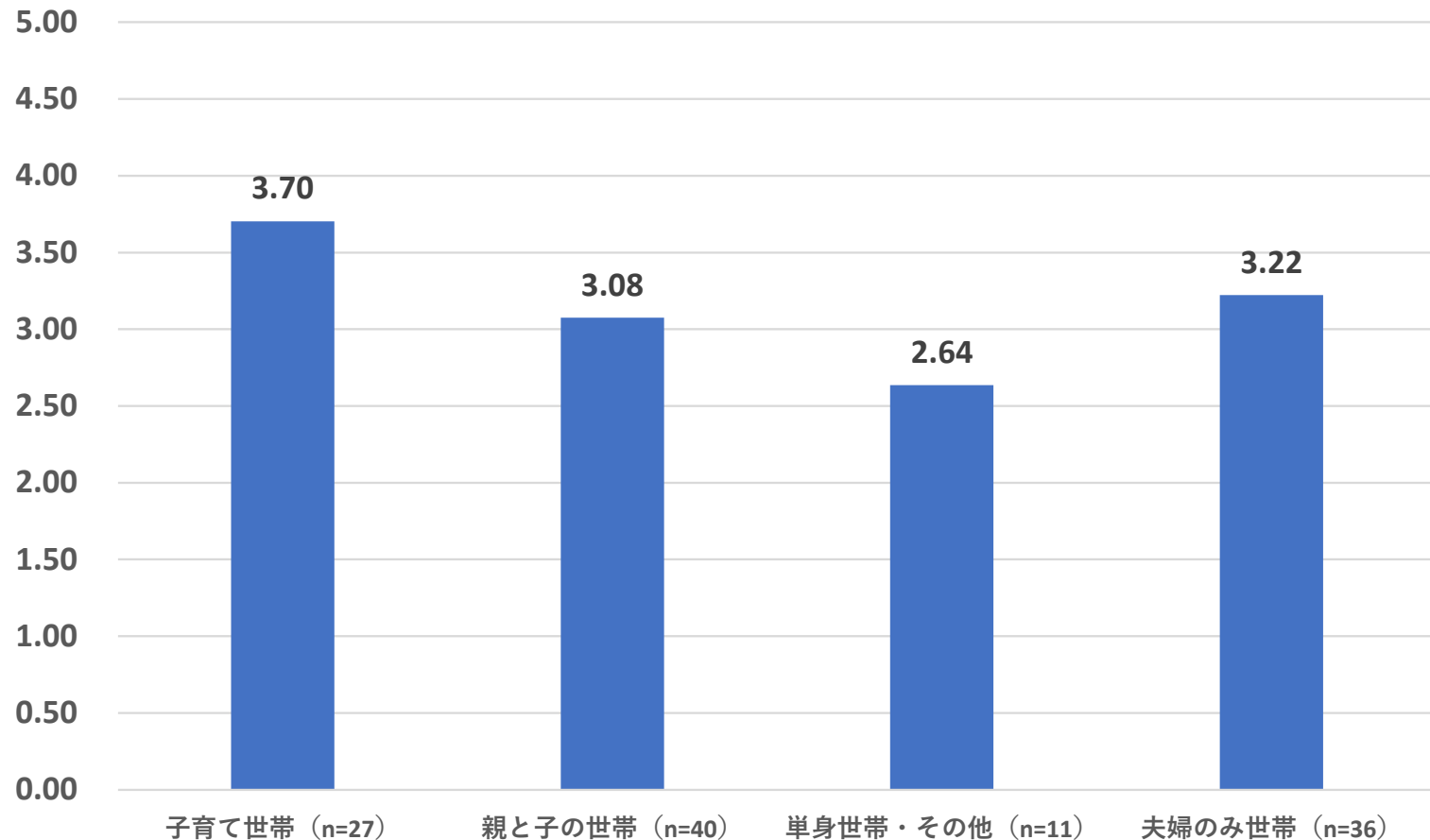


◆ 居住地区別の住みやすさ



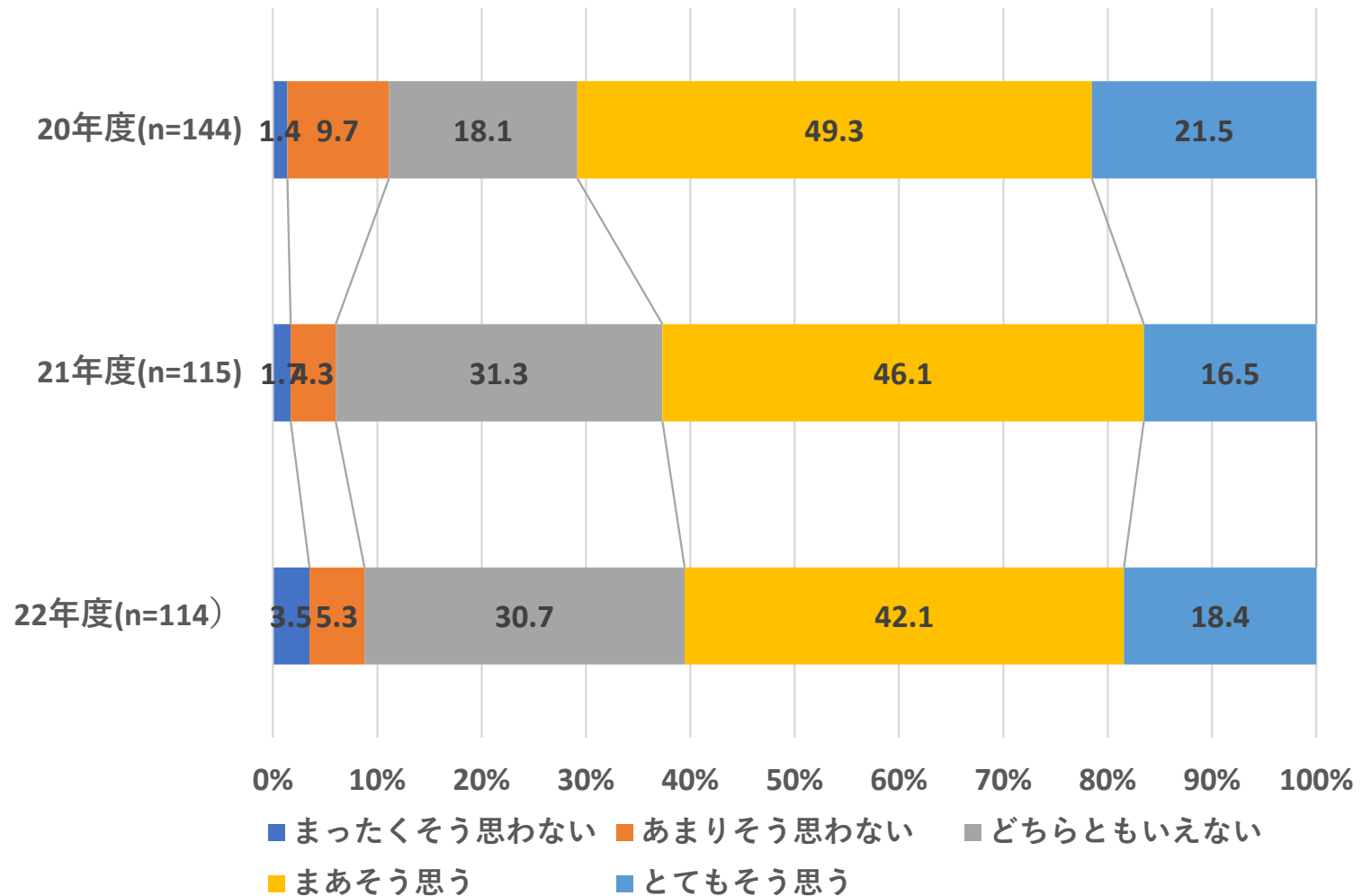
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 世帯区分別の住みやすさ

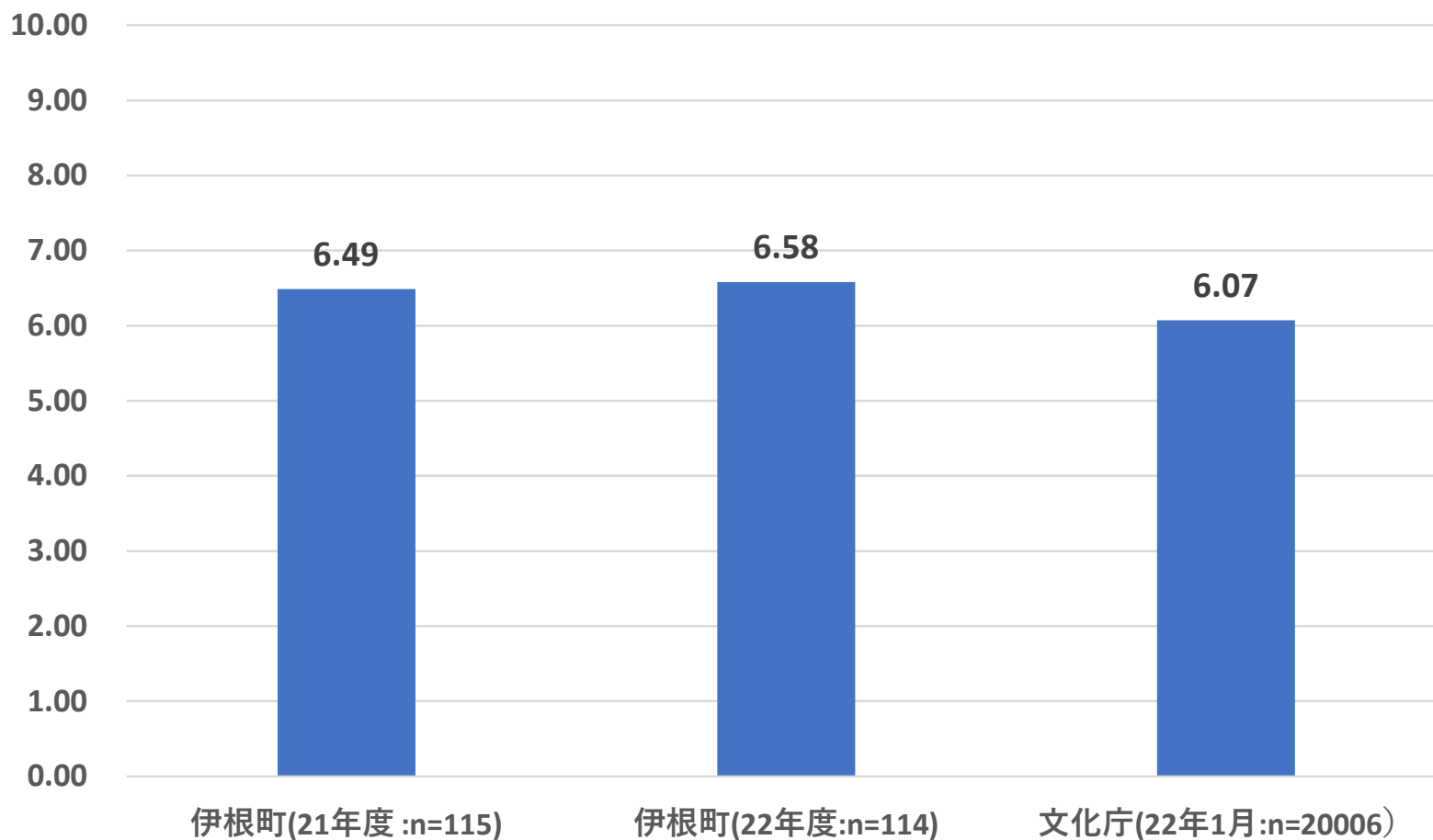


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

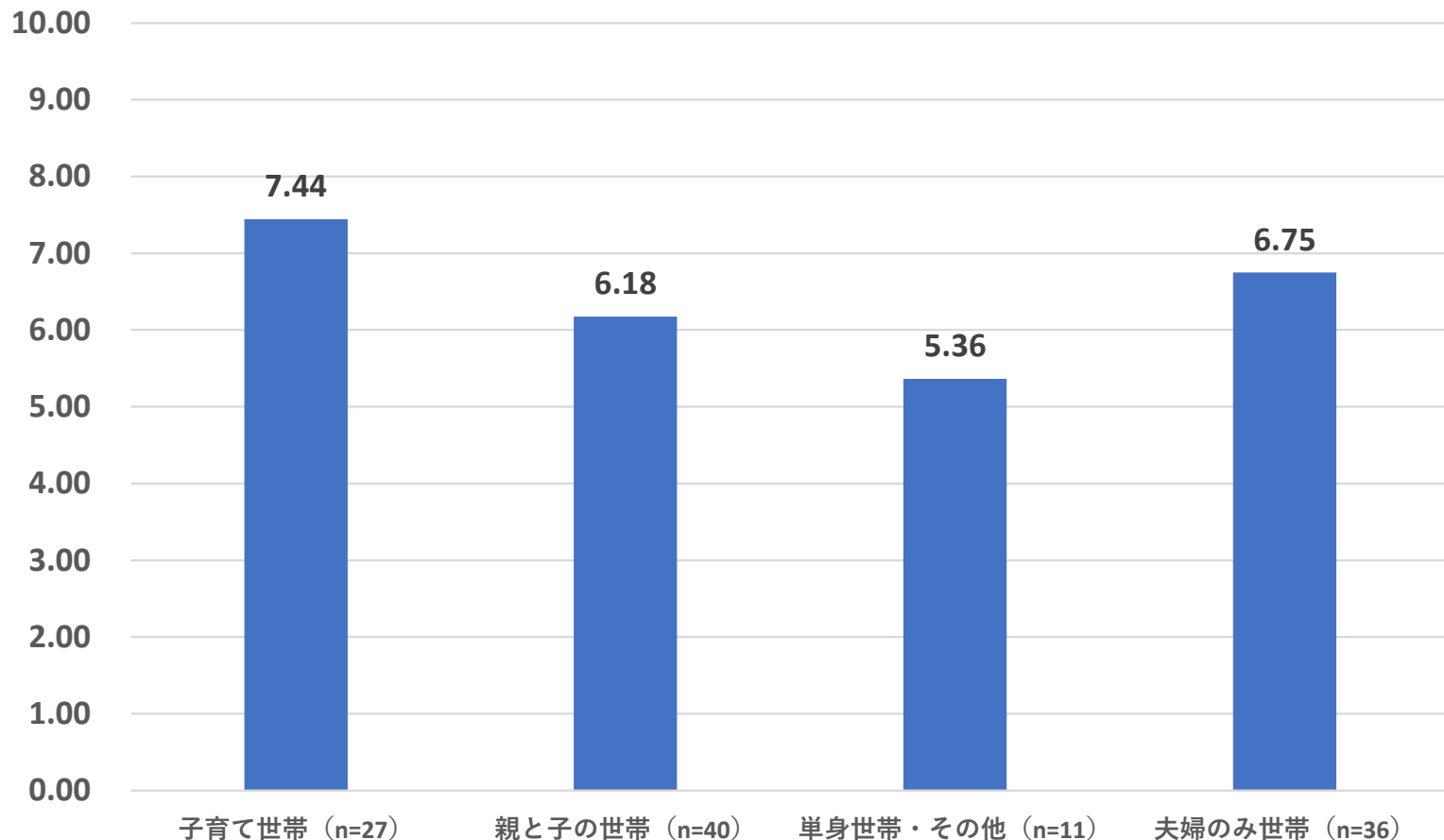
◆ 定住意向(20-22年度)



◆ 主觀的幸福感

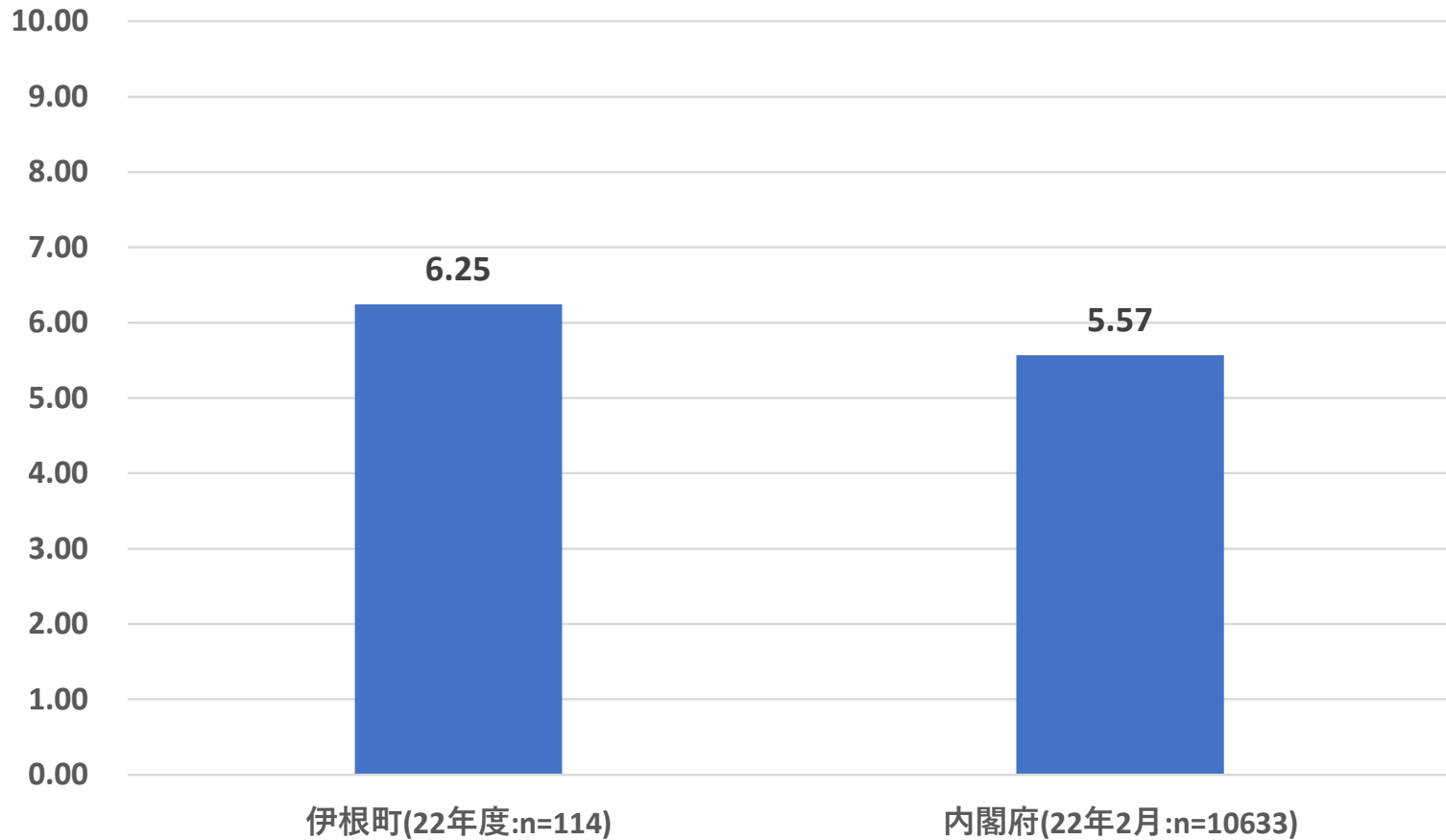


◆ 世帯区分別の主観的幸福感

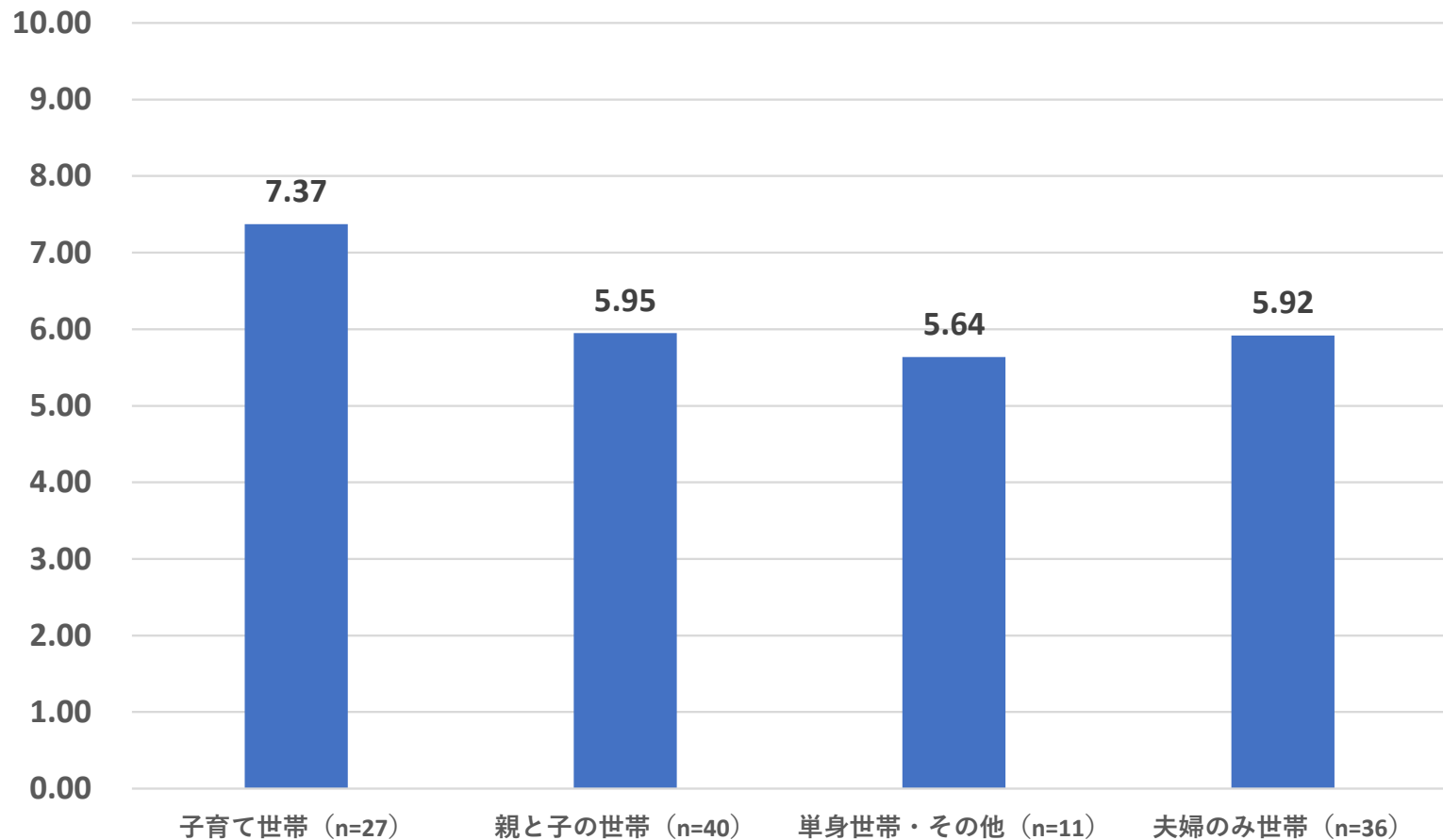


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 主觀的健康感

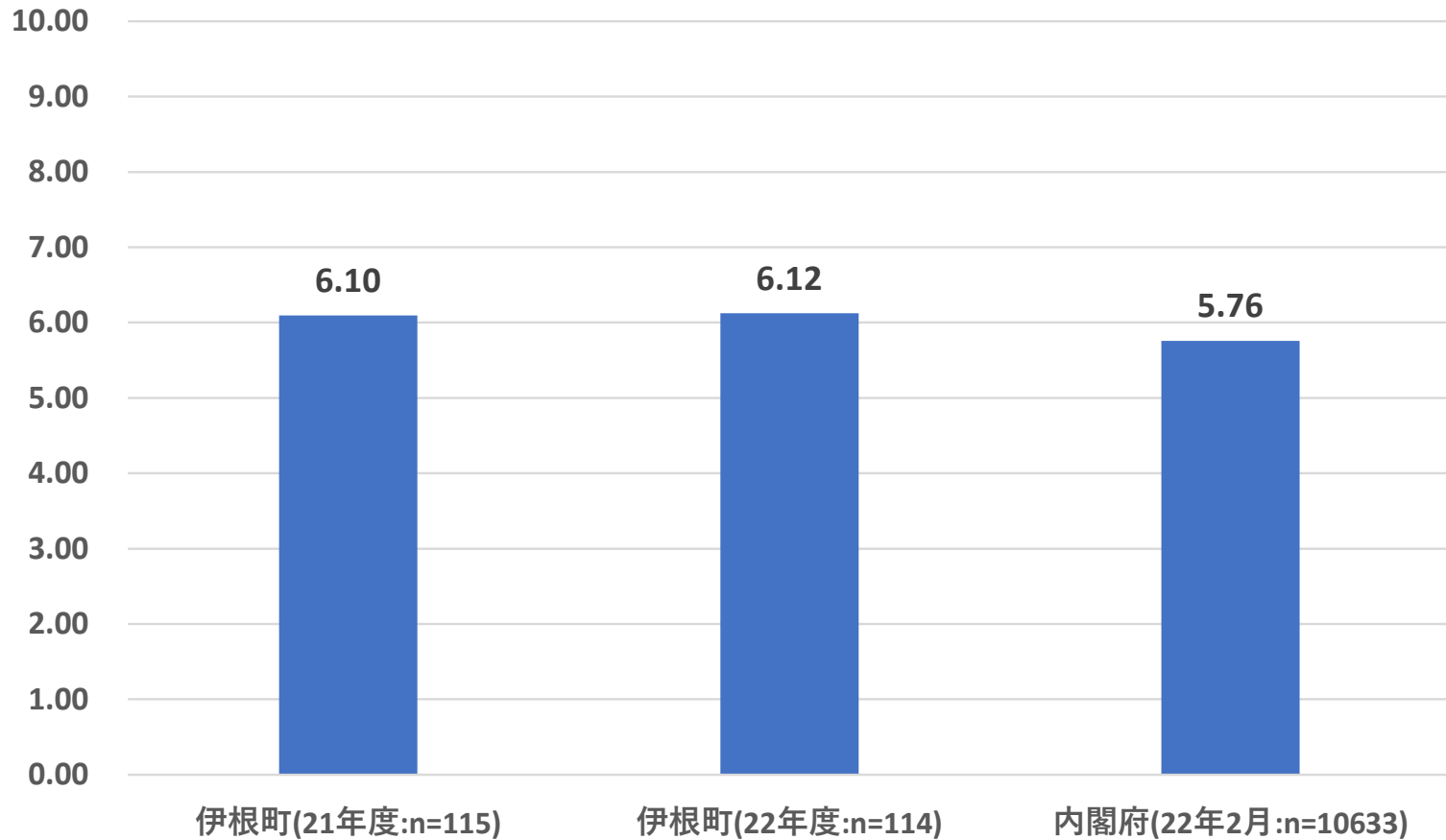


◆ 世帯区分別の主観的健康感

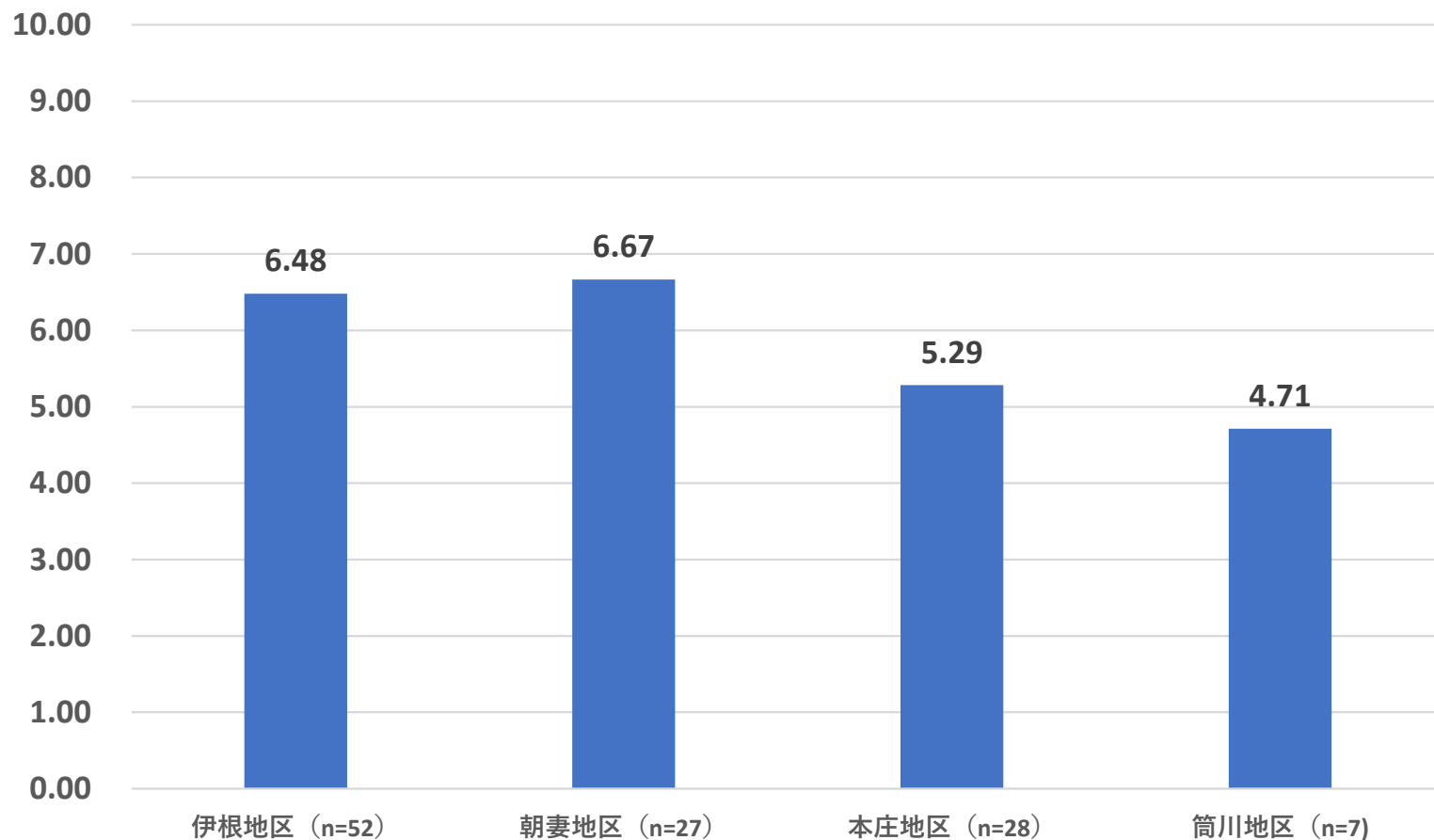


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯区分の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 生活の満足度

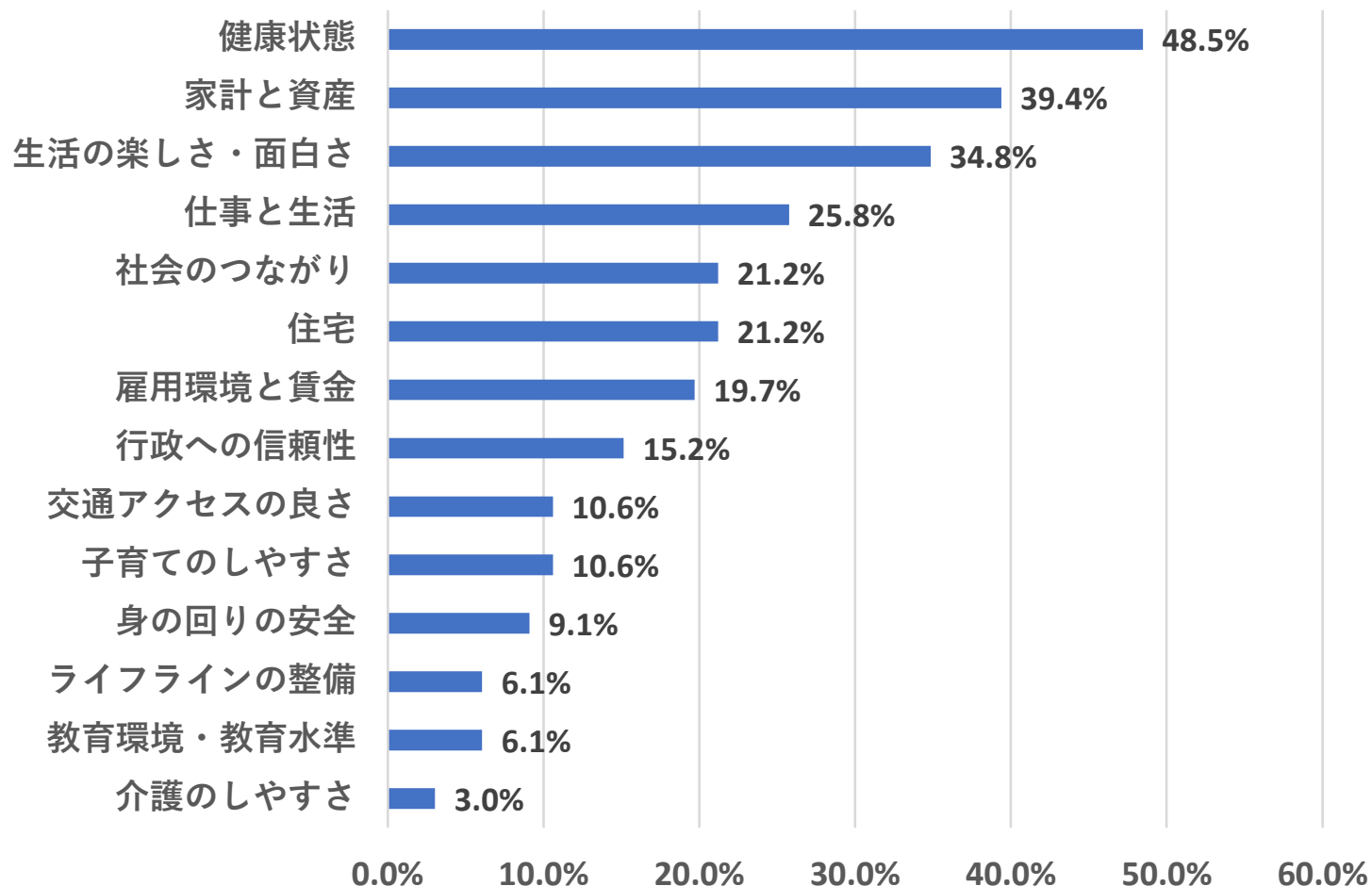


◆ 居住地区別の生活満足度



(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差 ($p < .05$) が認められた。)

◆ 満足度の決定要因 (n=60)



◆ 満足度の決定要素

年代	健康状態		
	該当	非該当	合 計
30代以下	1	29	30
40代	5	17	22
50代	8	10	18
60代	10	13	23
70代以上	8	13	21
合 計	32	82	114

(χ^2 検定を行った結果、年代と健康状態との間に有意な連関性($p<.05$)が認められた。)

7. まとめ

◆ まとめ①

- 町民による到達度評価では、「他の地域に誇れる町」と「子育てのしやすい町」が高く評価されていた一方で、「文化・スポーツ活動のしやすさ」と「生涯学習の充実度」が低く評価されていた。
- また、「経済的な豊かさ」は、居住地区と世帯区分の間に統計学的に有意な差が認められた。
- 町民の実感をみると、「伊根町で暮らすことへの誇りや愛着」、「地域での頼れる人」、「町に関する情報の入手しやすさ」が高く評価されていた。

◆ まとめ②

- しかし、「生活に必要な所得・収入」、「生活の利便性（買い物・移動等）」が低く評価されていた。
- 到達度評価のうち、5項目の評価では、世帯区分の間に統計学的に有意な差が認められていた。いずれも子育て世帯で高い評価になっていた。
- 地区・地域活動への参加、自然環境・景観の尊重、伝統・文化の継承に関する設問では、いずれも約6割の回答者が賛同していた。

◆ まとめ③

- 観光者の歓迎意向に関しては、5割強が歓迎していた。居住地区別にみると、居住地区の間に統計学的に有意な差が認められた。
- まちづくりに必要なことには、「医療・福祉サービス」、「就業場所」、「公共交通」、「教育・子育て支援」、「農林水産業の振興」が上位に挙げられていた。
- 伊根町の住みやすさについては、約半数近くが「とてもそう思う」・「そう思う」と回答していた。また、居住地区と世帯区分の間に、統計学的に有意な差が認められた。

◆ まとめ④

- 伊根町の定住意向について、約6割が「とても思う」・「思う」と回答していた。
- 伊根町の主観的幸福感と主観的健康感は、いずれも全国水準を上回っていた。また、世帯区分の間で、統計学的に有意な差が認められた。
- 伊根町の生活満足度は、全国水準を上回っていた。また、居住地区の間で、統計学的に有意な差が認められた。